

令和6年度郡山市セーフコミュニティ地域診断の累計データについて、

- ・救急搬送データを5年間ごとの累計
2014～2023年累計 → 2014～2018年累計、2019～2023年累計
 - ・人口動態統計データを4年間ごとの累計
2014～2022年累計 → 2014～2017年累計、2019～2022年累計
 - ・火災発生件数データを5年間ごとの累計
2014～2023年累計 → 2014～2018年累計、2019～2023年累計
- に再集計し、比較したものを示す。

【 項目 】

- ・年齢層別救急搬送順位
- ・年齢層別死亡要因順位
- ・分野1 交通安全
 - (4) 救急搬送要因のうち交通事故が占める割合
 - (5) 交通事故を要因とした救急搬送の年齢層別割合
 - (6) 交通事故を要因とした救急搬送の年齢別重症度率
 - (7) 交通事故を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数
 - (8) 交通事故を要因とした救急搬送発生場所
- ・分野2 こどもの安全
 - (3) 救急搬送されたこどものけがや事故の種別
 - (4) こどもの救急搬送場所
 - (5) 住宅から救急搬送されたこどものけがや事故の種別
 - (6) 住宅から一般負傷を要因に救急搬送されたこどものけがや事故の小分類場所
- ・分野3 高齢者の安全
 - (2) 救急搬送された高齢者のけがや事故の種別
 - (3) 高齢者のけがや事故による救急搬送発生場所
 - (4) 住宅から一般負傷を要因に救急搬送された高齢者の男女別発生場所小分類
 - (5) 一般負傷を要因とした救急搬送の年齢別重症度率
 - (6) 傷病及びその他の外因による年代別死亡者数
 - (7) 高齢者のけがや事故による種別ごとの死亡者数
 - (8) 窒息による年代別死亡者数の割合
- ・分野4 自殺予防
 - (3) 年齢層別・男女別自殺者数
 - (7) 自損行為を要因に救急搬送された年齢層別割合
 - (8) 自損行為を要因に救急搬送された性別年齢層別割合
 - (9) 自損行為を要因に救急搬送された月別人数
 - (10) 自損行為の救急搬送発生場所
 - (11) 自損行為の住宅内での救急搬送発生場所
 - (12) 自損行為を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数
- ・分野5 防犯
 - (4) 加害を要因とした救急搬送の年齢階層別構成
 - (6) 加害を要因とした男女別の救急搬送場所
 - (7) 加害を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数
- ・分野6 防災
 - (3) 署所別の出火件数と死傷者数
 - (6) 月別火災発生件数
 - (7) 火災を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数
 - (10) 労働災害を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数

年齢層別救急搬送順位 ※病気を除く

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、2014～2018年の5年間では、「一般負傷」「交通事故」に次いで「自損行為」となっていたが、2019～2023年の5年間では、「一般負傷」「交通事故」に次いで「労働災害」による救急搬送が多くなっている。

○2014～2018年累計

(単位：人)

	1位		2位		3位		4位		5位	
新生児～乳幼児 (0～6歳まで)	一般負傷	577	交通事故	191	加害	3	水難	2	運動競技	1
少年 (7～17歳まで)	交通事故	700	運動競技	337	一般負傷	319	自損行為	28	加害	5
成人 (18～64歳まで)	交通事故	3,901	一般負傷	2,027	自損行為	430	労働災害	367	加害	255
高齢者 (65歳以上)	一般負傷	5,054	交通事故	1,233	自損行為	88	労働災害	59	加害	32
全年齢	一般負傷	7,977	交通事故	6,025	自損行為	546	運動競技	528	労働災害	427

○2019～2023年累計

(単位：人)

	1位		2位		3位		4位		5位	
新生児～乳幼児 (0～6歳まで)	一般負傷	507	交通事故	90	加害	5	運動競技	1	/	
少年 (7～17歳まで)	交通事故	518	運動競技	287	一般負傷	283	自損行為	25	加害	8
成人 (18～64歳まで)	交通事故	2,699	一般負傷	1,614	労働災害	459	自損行為	447	加害	137
高齢者 (65歳以上)	一般負傷	5,887	交通事故	1,174	労働災害	93	自損行為	80	火災	38
全年齢	一般負傷	8,291	交通事故	4,481	労働災害	553	自損行為	552	運動競技	386

- (備考) 1 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成
2 「急病」、「その他」を除く

年齢層別死亡要因順位 ※病気を除く

SC取組当初の2014～2017年の4年間と直近2019～2022年の4年間累計を比較すると、2014～2017年の4年間では、「自殺」に次いで「窒息」となっていたが、2019～2022年の4年間では、「自殺」に次いで「転倒・転落」による死亡者数が多くなっている。

○2014～2017年累計

(単位：人)

年齢層	1位		2位		3位		4位		5位	
10-19歳	自殺	5								
20-29歳	自殺	29	交通事故	5						
30-39歳	自殺	34								
40-49歳	自殺	52	交通事故	11						
50-59歳	自殺	46	交通事故	9	転倒・転落 窒息	4				
60-69歳	自殺	29	交通事故	10	転倒・転落 溺死・溺水	8	煙・火・火災	4		
70-79歳	自殺	27	窒息	18	溺死・溺水	14	交通事故 転倒・転落	11	煙・火・火災	4
80-89歳	窒息	55	転倒・転落	30	溺死・溺水	23	自殺	18	交通事故 煙・火・火災	4
90歳以上	窒息	24	転倒・転落	16	溺死・溺水	6				
全年齢	自殺	242	窒息	111	転倒・転落	72	交通事故 溺死・溺水	57	煙・火・火災	15

○2019～2022年累計

(単位：人)

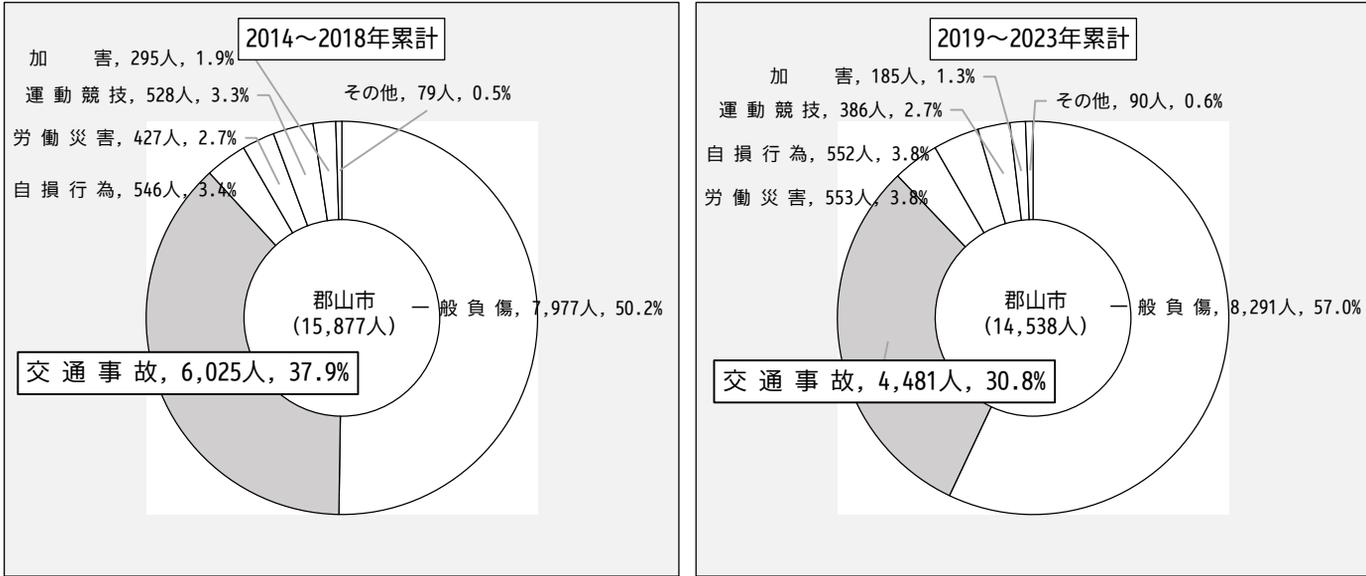
年齢層	1位		2位		3位		4位		5位	
10-19歳	自殺	12								
20-29歳	自殺	21								
30-39歳	自殺	27								
40-49歳	自殺	32	交通事故	4						
50-59歳	自殺	36	交通事故 煙・火・火災	6						
60-69歳	自殺	31	交通事故	8	窒息 溺死・溺水	7	転倒・転落	6	煙・火・火災	4
70-79歳	自殺	27	転倒・転落	14	窒息 溺死・溺水	13	交通事故	6		
80-89歳	窒息	34	溺死・溺水	31	転倒・転落	29	自殺	20	交通事故	12
90歳以上	転倒・転落	38	窒息	26	自殺	5	溺死・溺水	4人		
全年齢	自殺	211	転倒・転落	95	窒息	88	溺死・溺水	60	交通事故	41

- (備考) 1 「人口動態統計」(厚生労働省)を加工して作成
 2 「傷病及び死亡の外因」のうち「その他の外因」、「その他の不慮の事故」を除く
 3 死亡者数が3人以下の死因は記載していない

分野1 交通安全

(4) 救急搬送要因のうち交通事故が占める割合(郡山市)

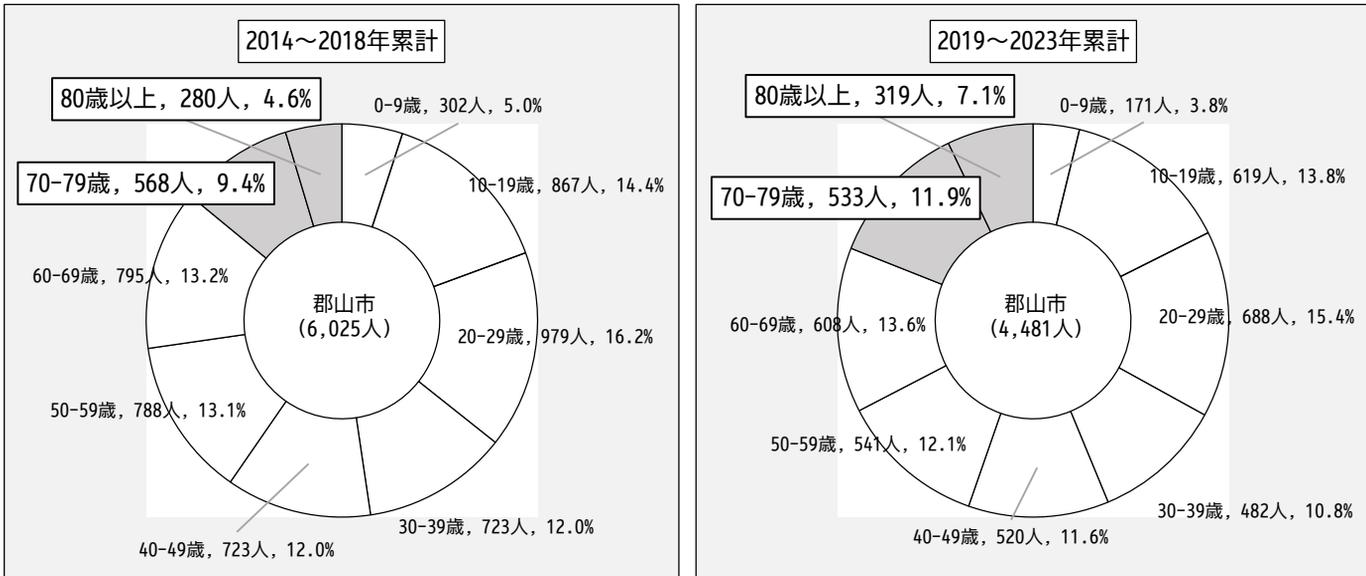
SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、交通事故が占める割合は7.1ポイント減少した。



(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

(5) 交通事故を要因とした救急搬送の年齢層別割合(郡山市)

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、70歳代及び80歳以上の割合が2.5ポイント増加した。

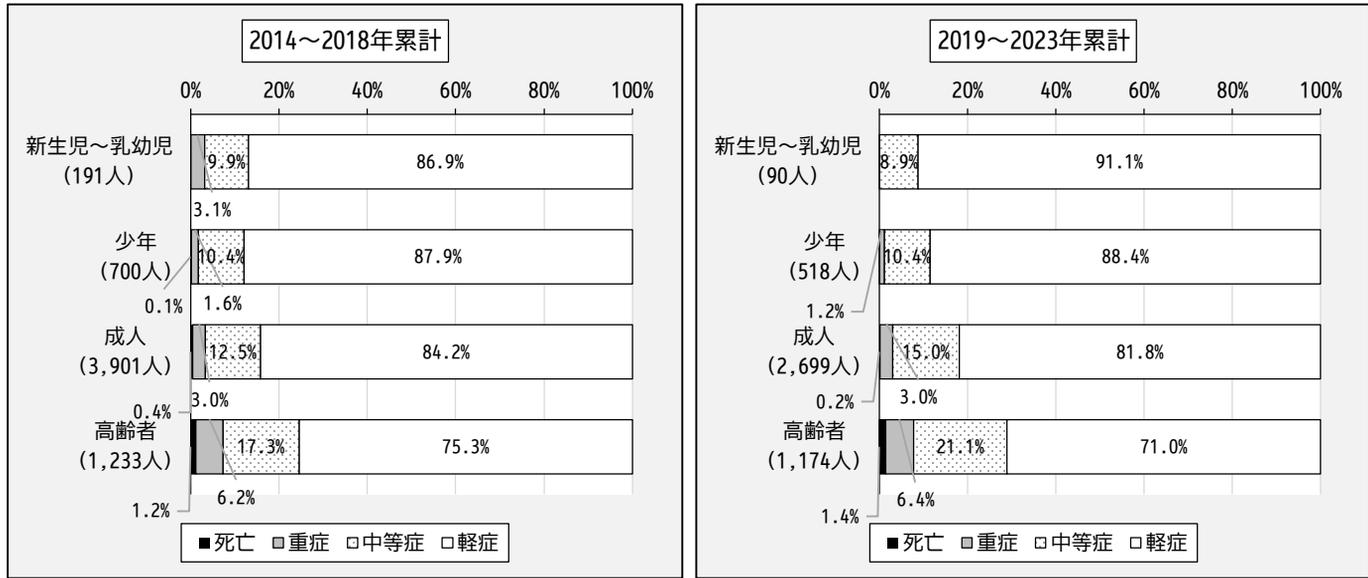


(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野1 交通安全

(6) 交通事故を要因とした救急搬送の年齢別重症度率（郡山市）

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、高齢者の「中等症」の割合が3.8ポイント増加した。

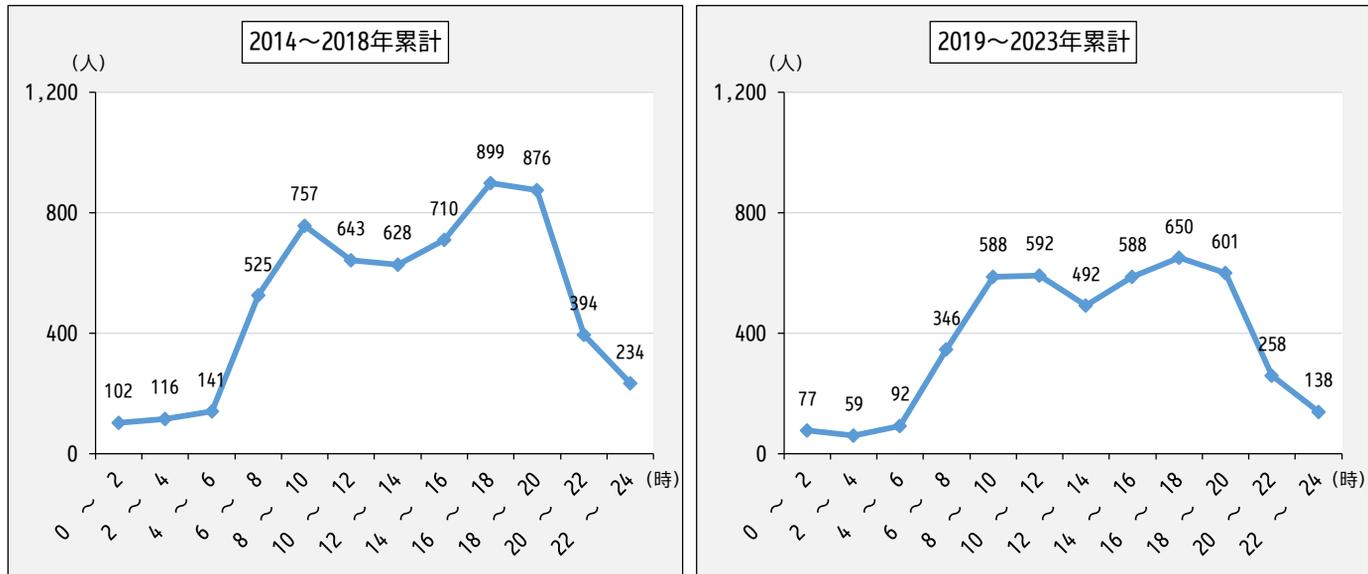


(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

(7) 交通事故を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数（郡山市）

ア 時間別

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、いずれも朝方と夕方の時間帯が多いが、直近5年間は「10～12時」「14～16時」と昼間の時間帯も多くなっている。



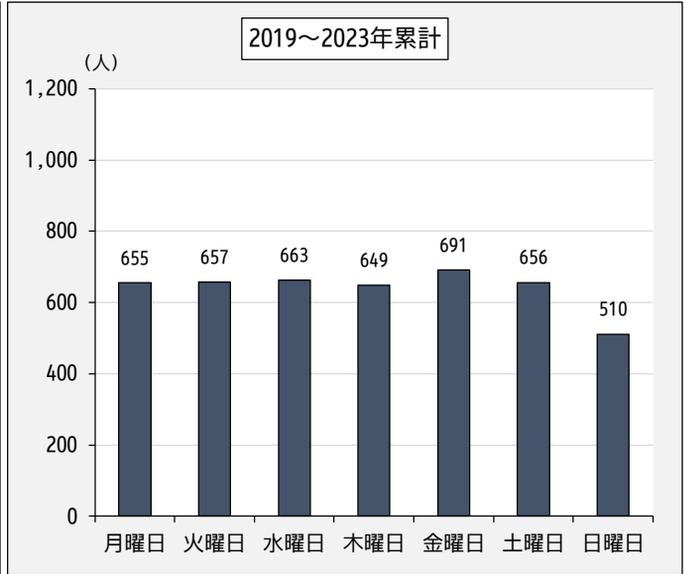
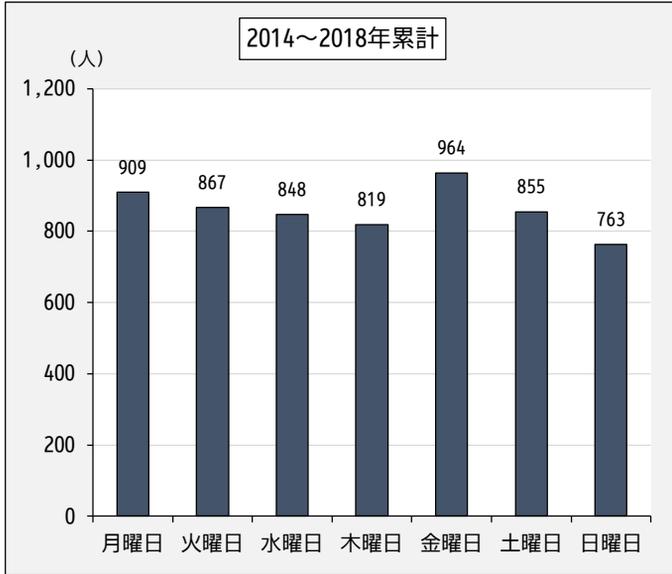
(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野1 交通安全

(7) 交通事故を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数(郡山市)

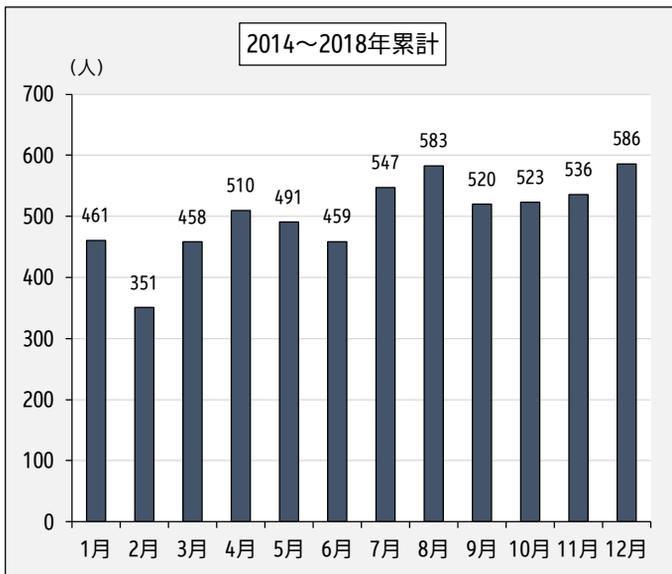
イ 曜日別

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、いずれも「金曜日」が最も多く、「日曜日」が最も少ない。



ウ 月別

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、いずれも「12月」が最も多く、「2月」が最も少ない。

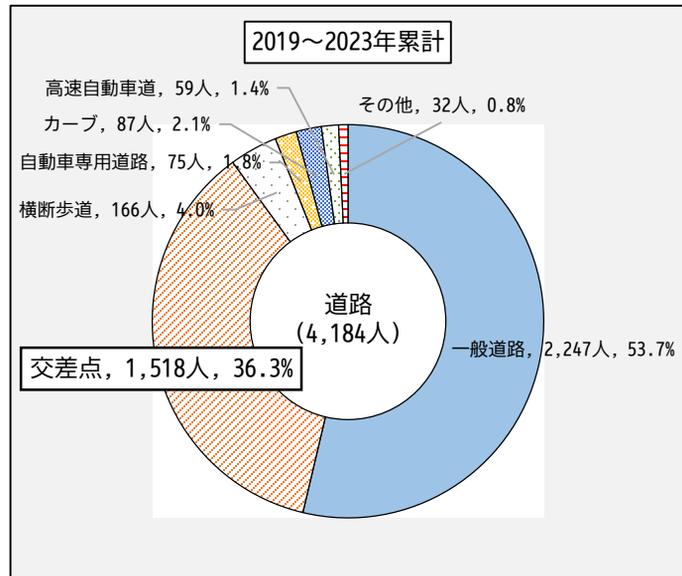
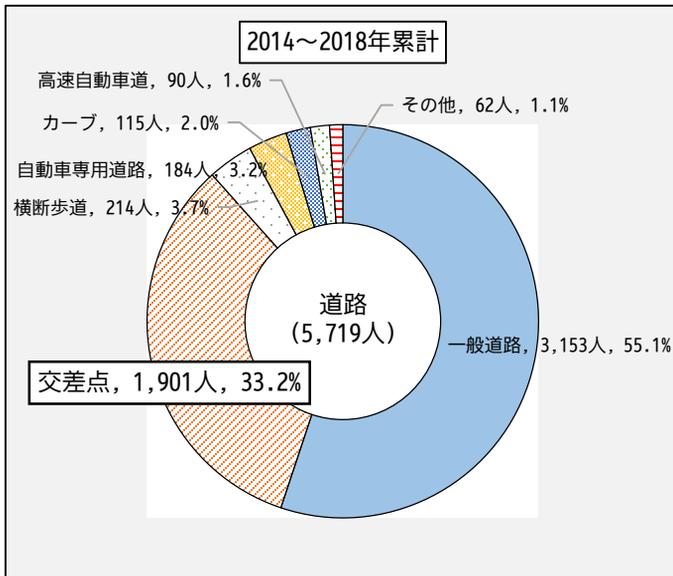
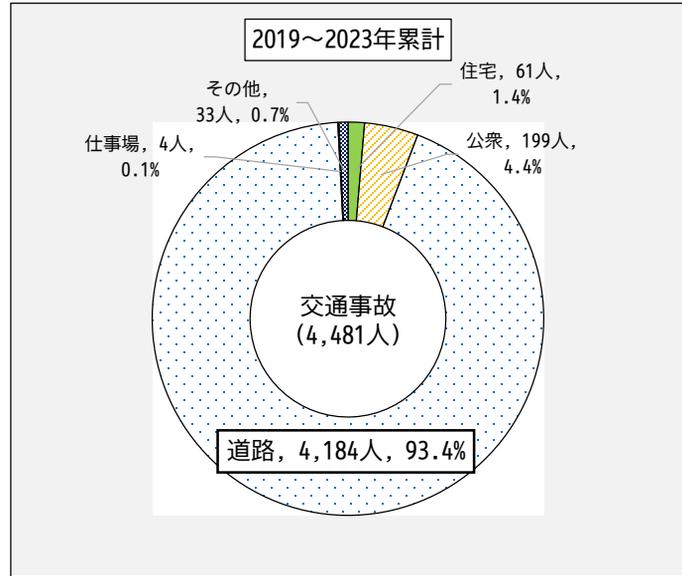
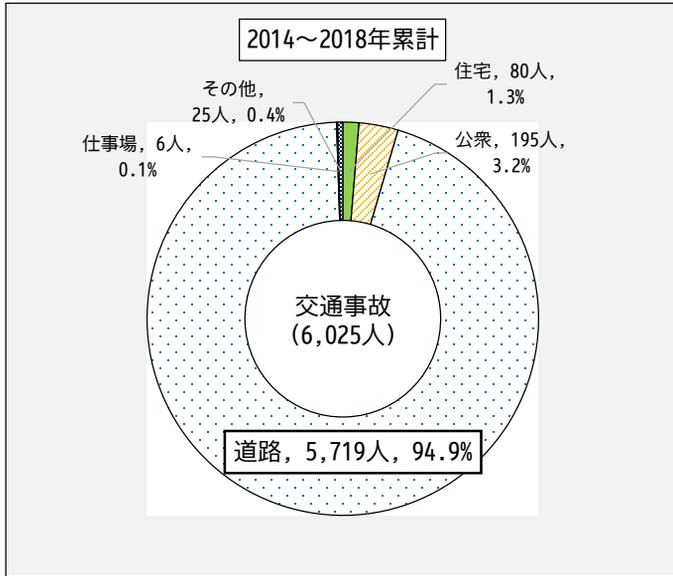


(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野1 交通安全

(8) 交通事故を要因とした救急搬送発生場所（郡山市）

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、「道路」での「交差点」の割合は3.1ポイント増加した。



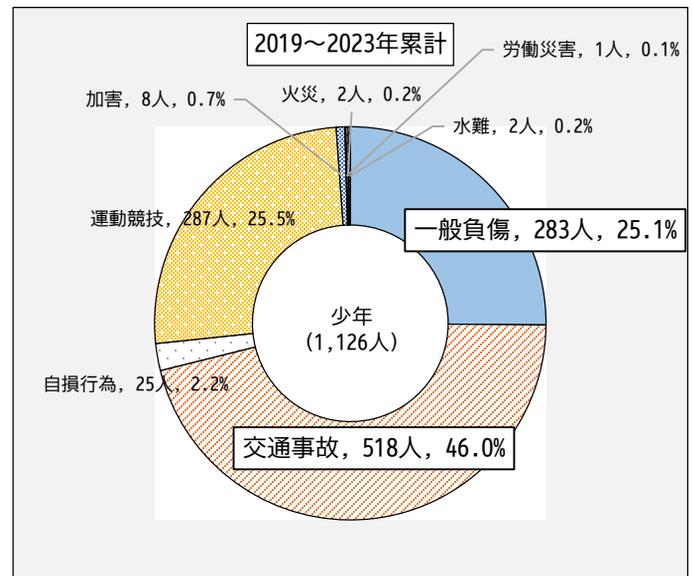
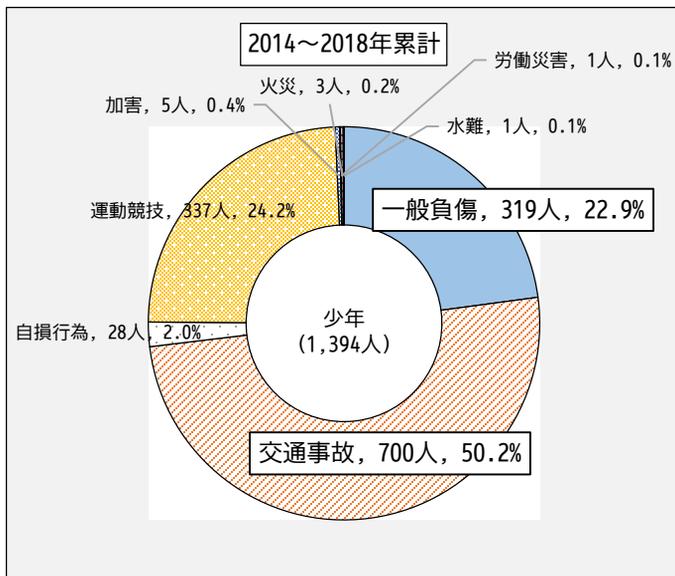
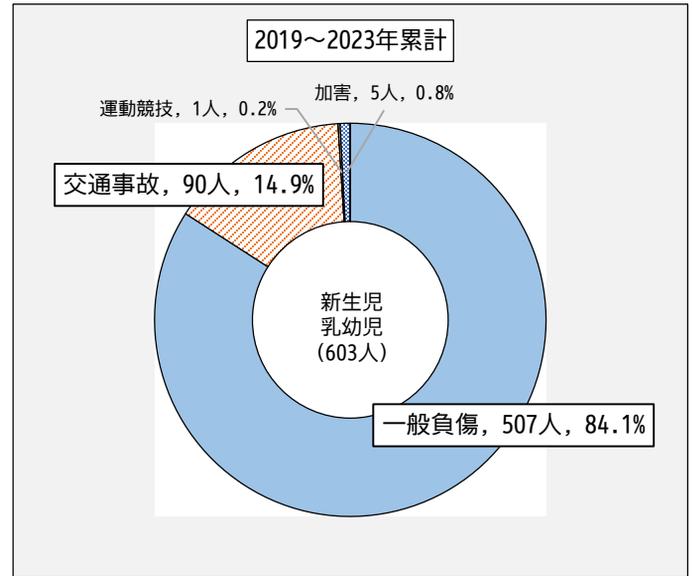
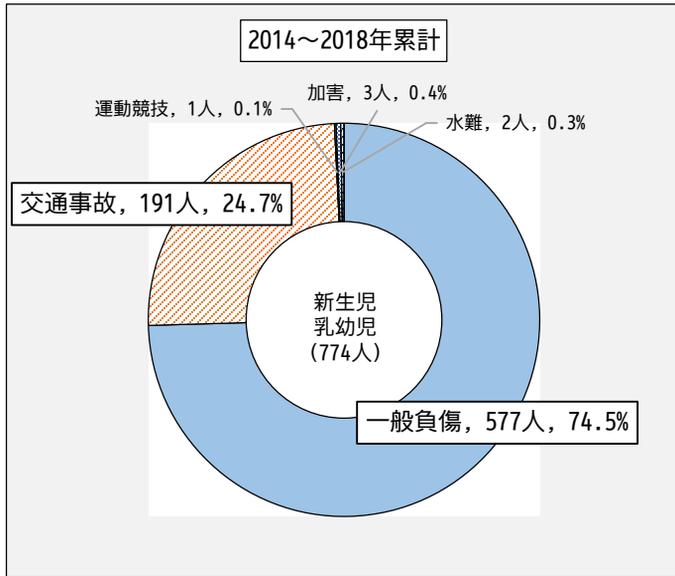
- (備考) 1 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成
 2 救急搬送発生場所は発生場所大分類名、道路での内訳は発生場所中分類名による（参考P.50）

分野2 こどもの安全

(3) 救急搬送されたこどものけがや事故の種別(郡山市)

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、新生児・乳幼児は「一般負傷」の割合が9.6ポイント増加し、「交通事故」の割合が9.8ポイント減少した。

少年は「一般負傷」の割合が2.2ポイント増加し、「交通事故」の割合が4.2ポイント減少した。



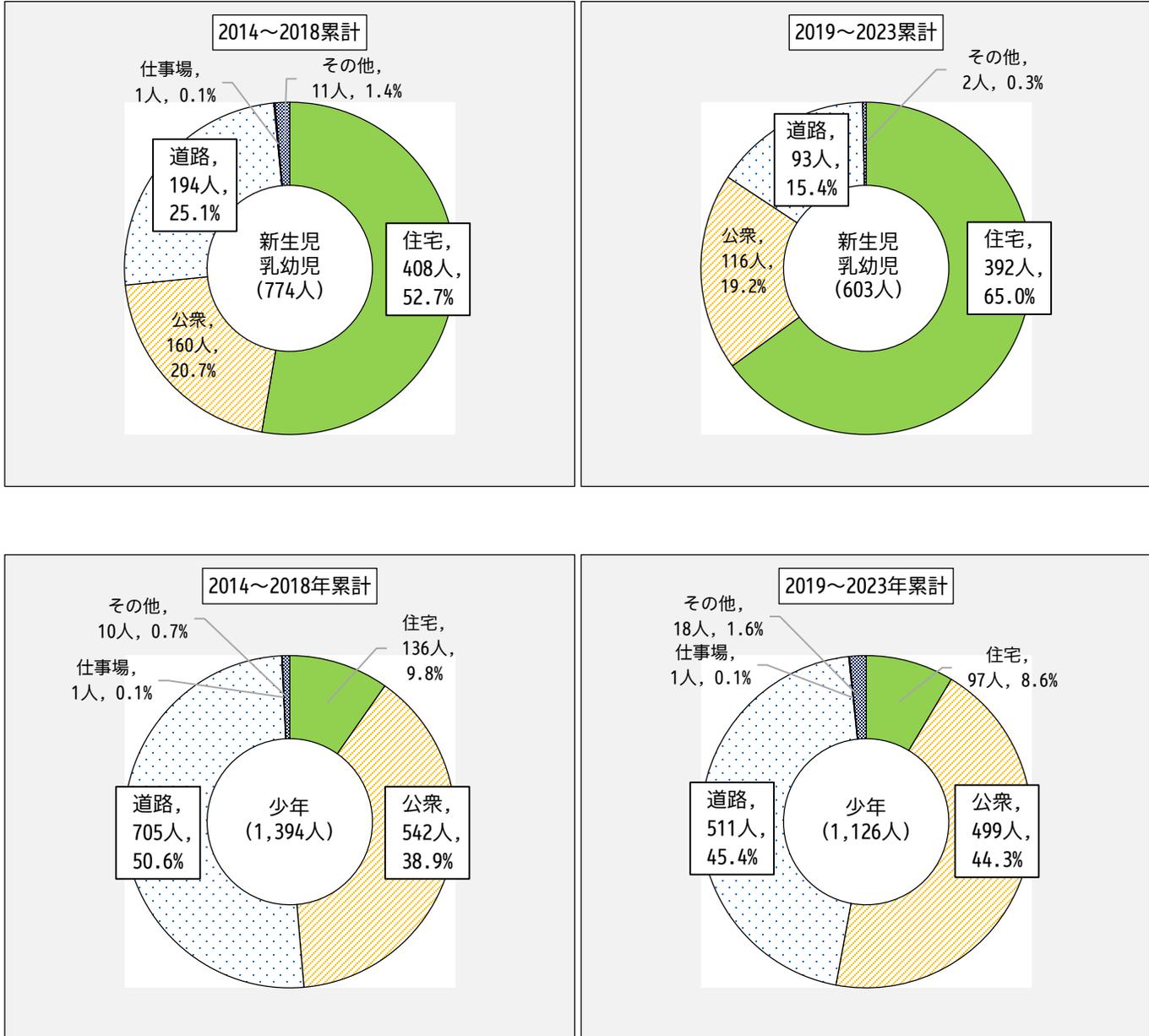
(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野2 こどもの安全

(4) こどもの救急搬送場所（郡山市）

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、新生児・乳幼児は「住宅」の割合が12.3ポイント増加し、「道路」の割合が9.7ポイント減少した。

少年は「公衆」の割合が5.4ポイント増加し、「道路」の割合が5.2ポイント減少した。

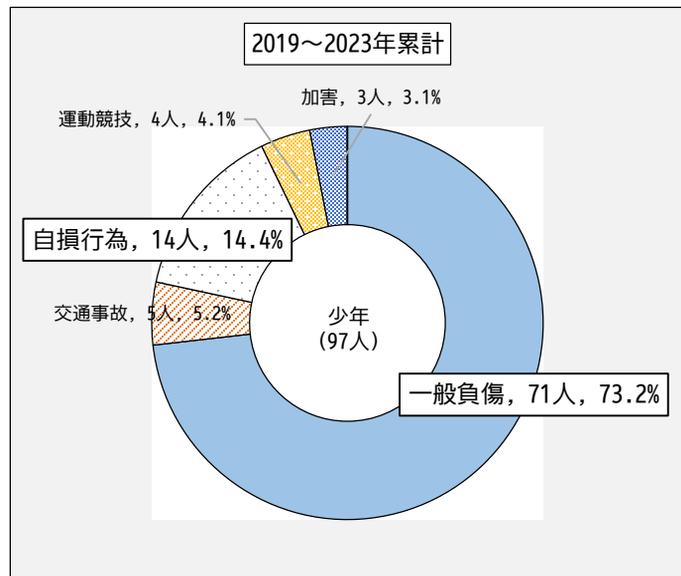
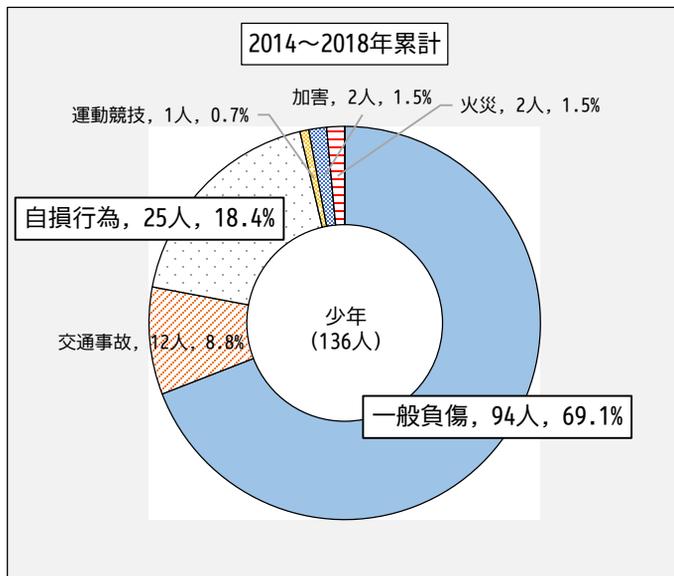
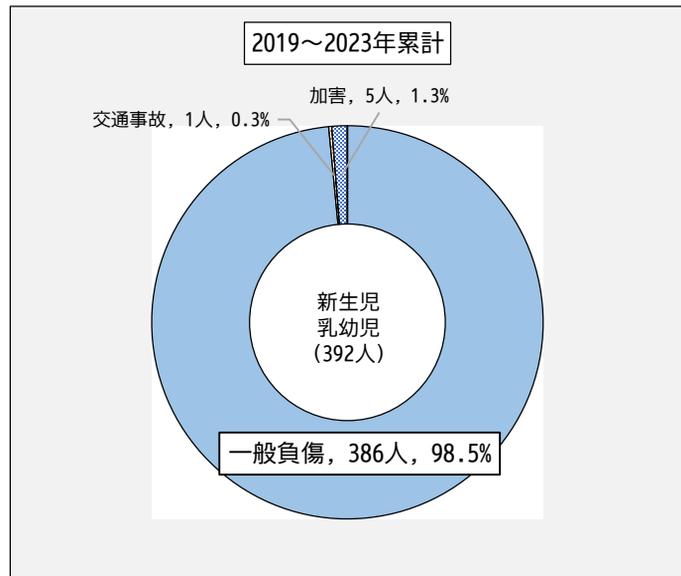
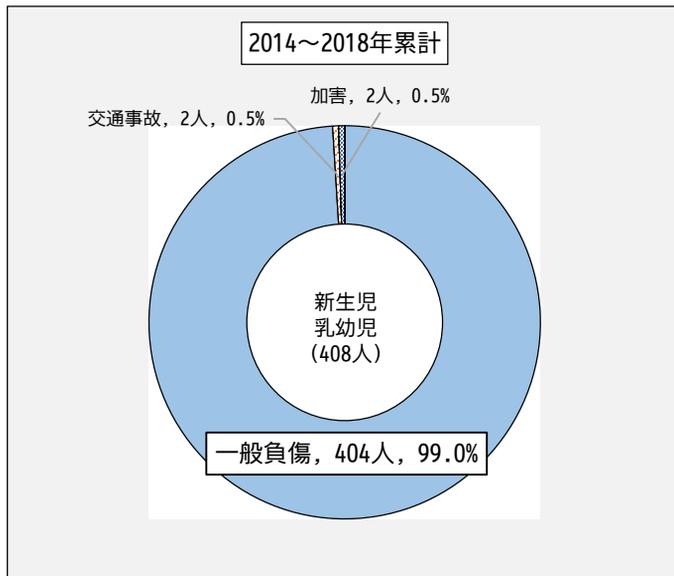


(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野2 こどもの安全

(5) 住宅から救急搬送されたこどものけがや事故種別（郡山市）

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、新生児・乳幼児は、住宅での事故種別の割合に大きな変化はない。少年は「一般負傷」の割合が4.1ポイント増加し、「自損行為」の割合が4.0ポイント減少した。



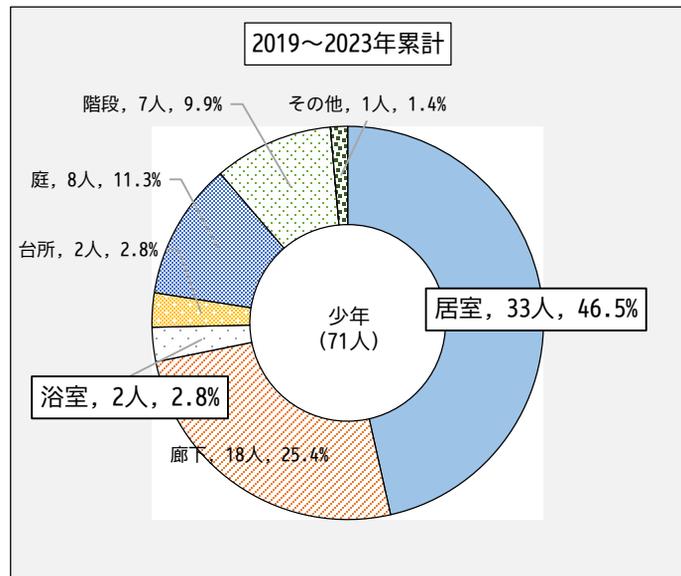
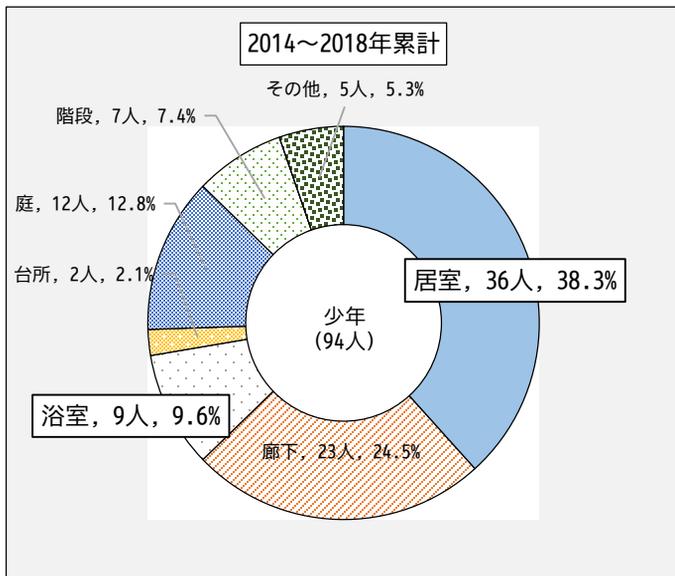
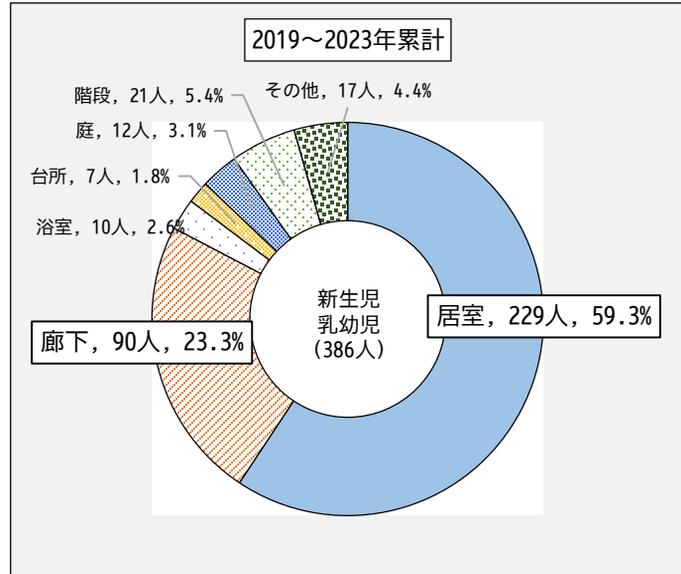
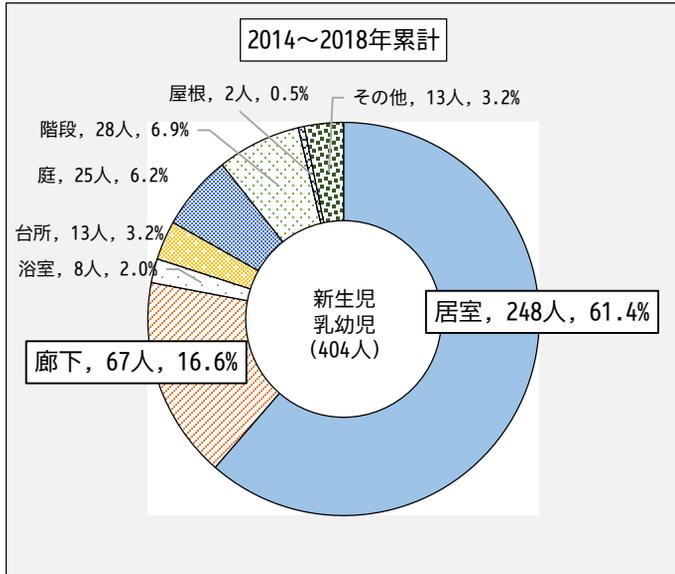
(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野2 こどもの安全

(6) 住宅から一般負傷を要因に救急搬送されたこどものけがや事故の小分類場所（郡山市）

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、新生児・乳幼児は「居室」の割合が2.1ポイント減少し、「廊下」の割合が6.7ポイント増加した。

少年は「居室」の割合が8.2ポイント増加し、「浴室」の割合が6.8ポイント減少した。

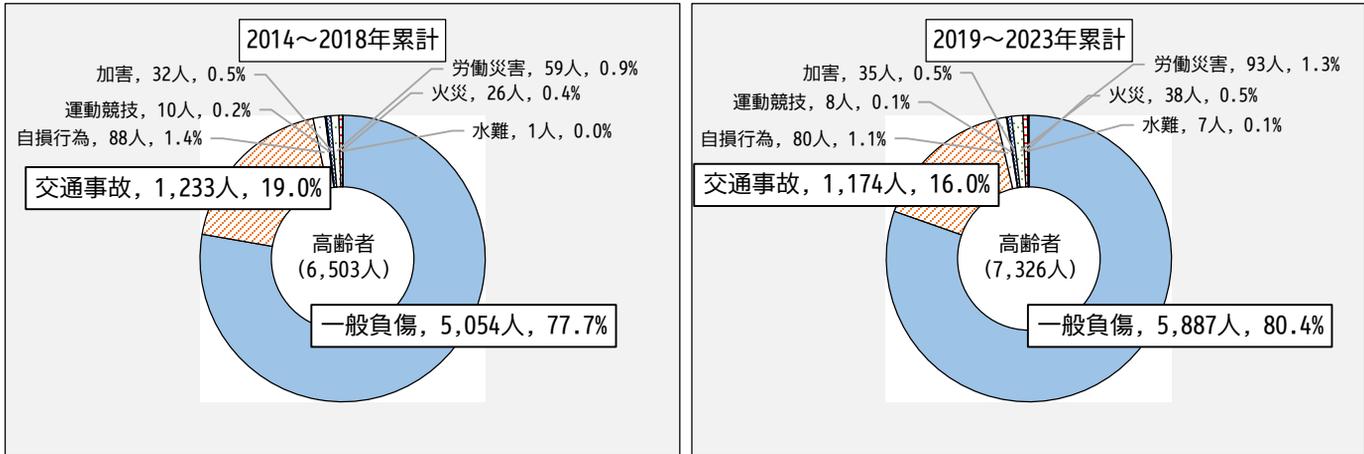


(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野3 高齢者の安全

(2) 救急搬送された高齢者のけがや事故の種別（郡山市）

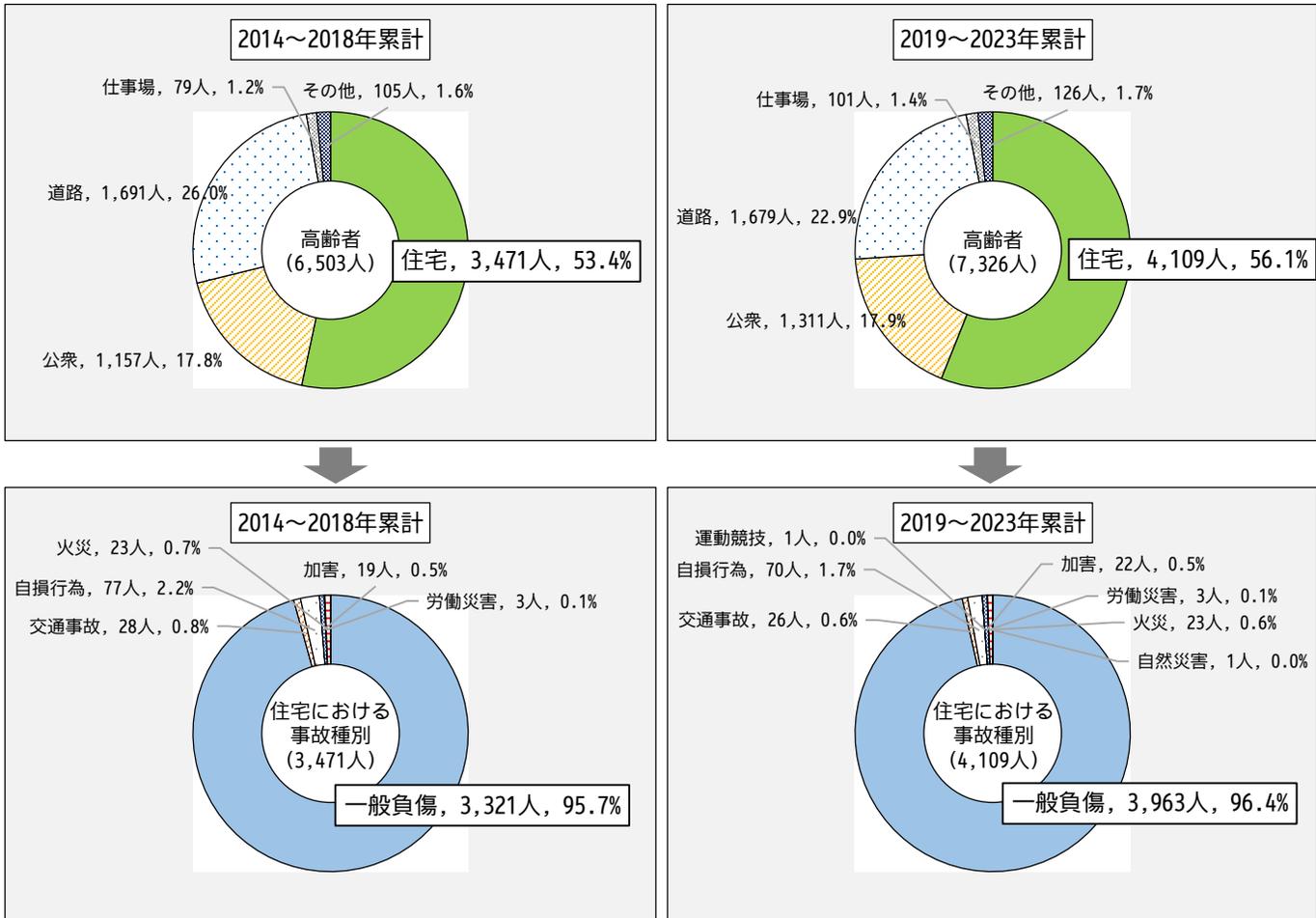
SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、「一般負傷」の割合が2.7ポイント増加し、「交通事故」の割合が3.0ポイント減少した。



(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

(3) 高齢者のけがや事故による救急搬送発生場所（郡山市）

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、「住宅」での「一般負傷」の割合に大きな変化はない。

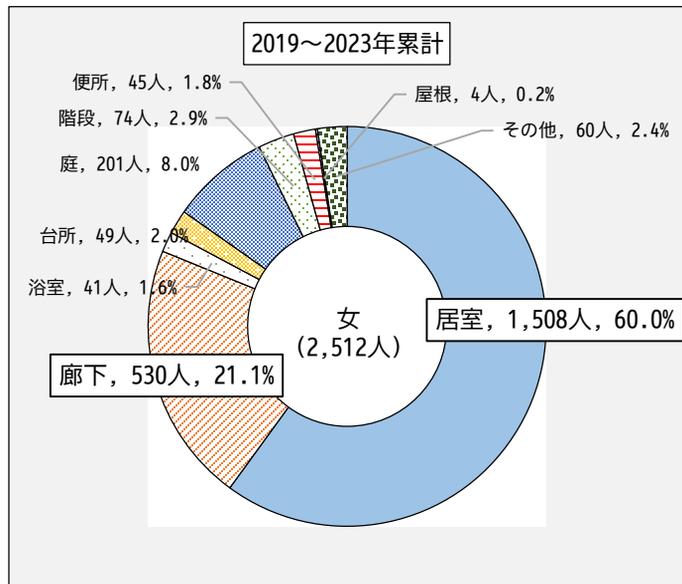
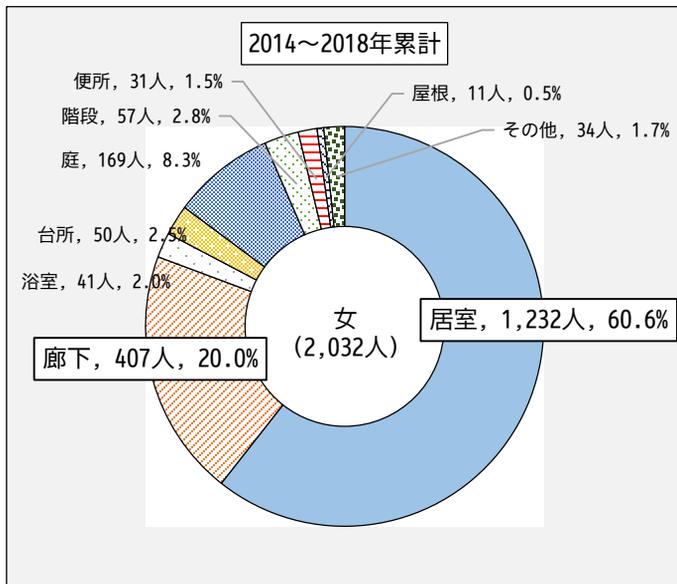
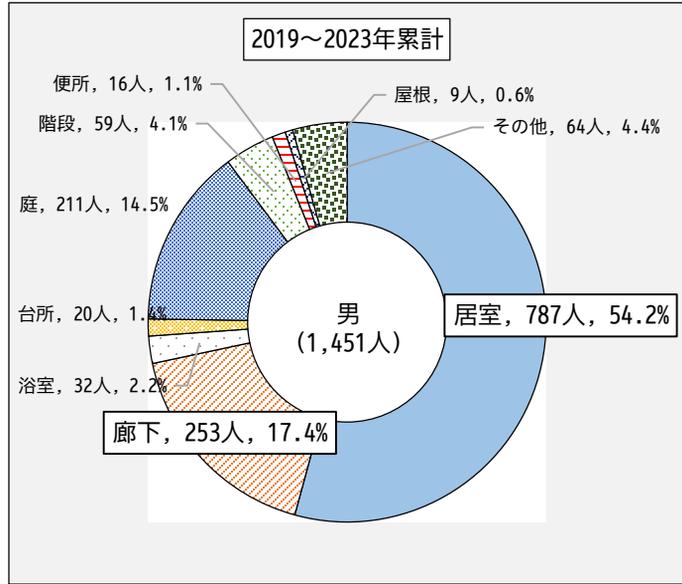
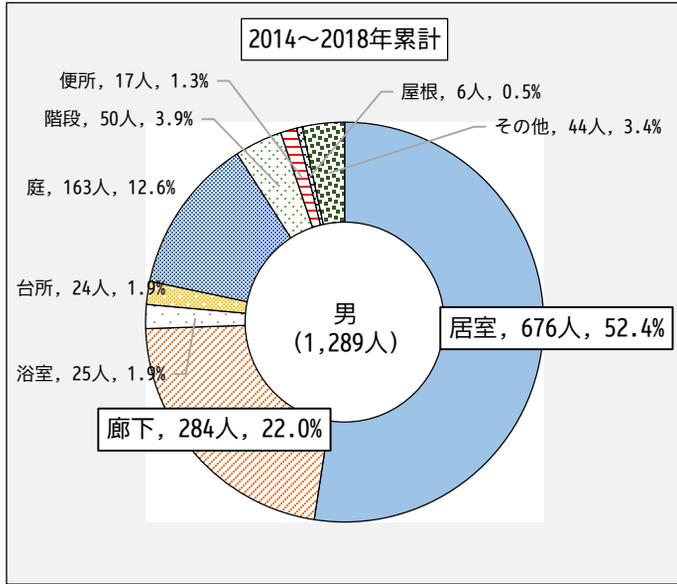


(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野3 高齢者の安全

(4) 住宅から一般負傷を要因に救急搬送された高齢者の男女別発生場所小分類(郡山市)

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、男性は、「居室」の割合が1.8ポイント増加し、「廊下」の割合が4.6ポイント減少した。女性は、発生場所の割合に大きな変化はない。

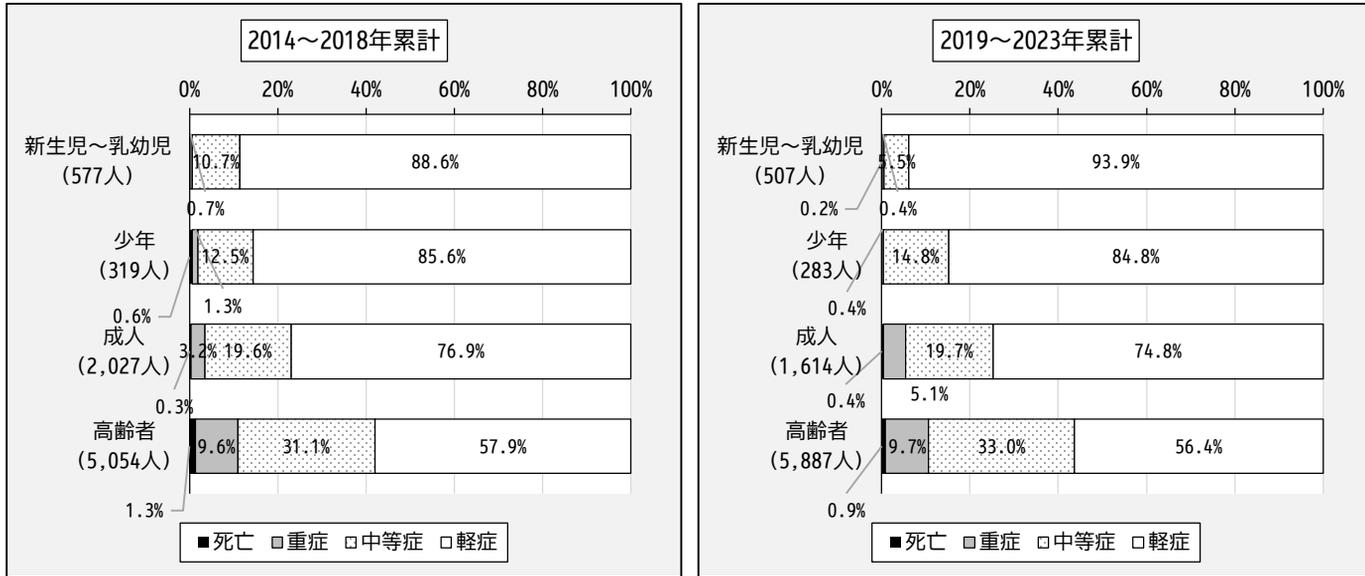


(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野3 高齢者の安全

(5) 一般負傷を要因とした救急搬送の年齢別重症度率（郡山市）

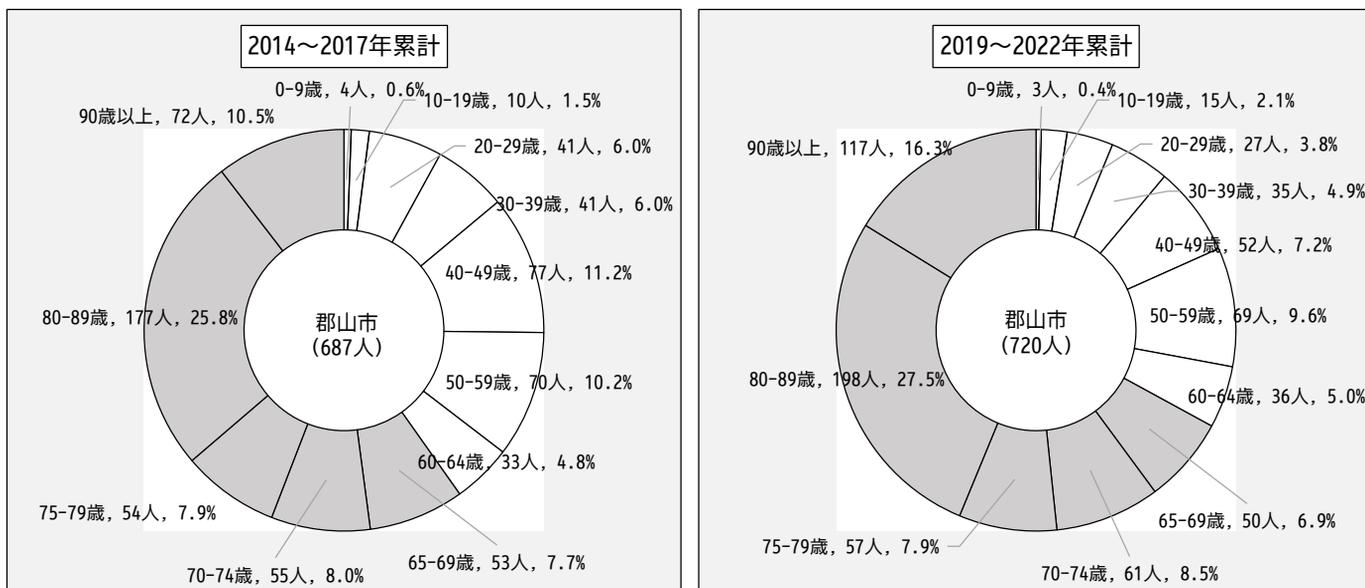
SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、高齢者の「中等症」の割合は1.9ポイント増加した。



(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

(6) 傷病及びその他の外因による年代別死亡者数（郡山市）

SC取組当初の2014～2017年の4年間と直近2019～2022年の4年間累計を比較すると、65歳以上の割合は7.3ポイント増加した。

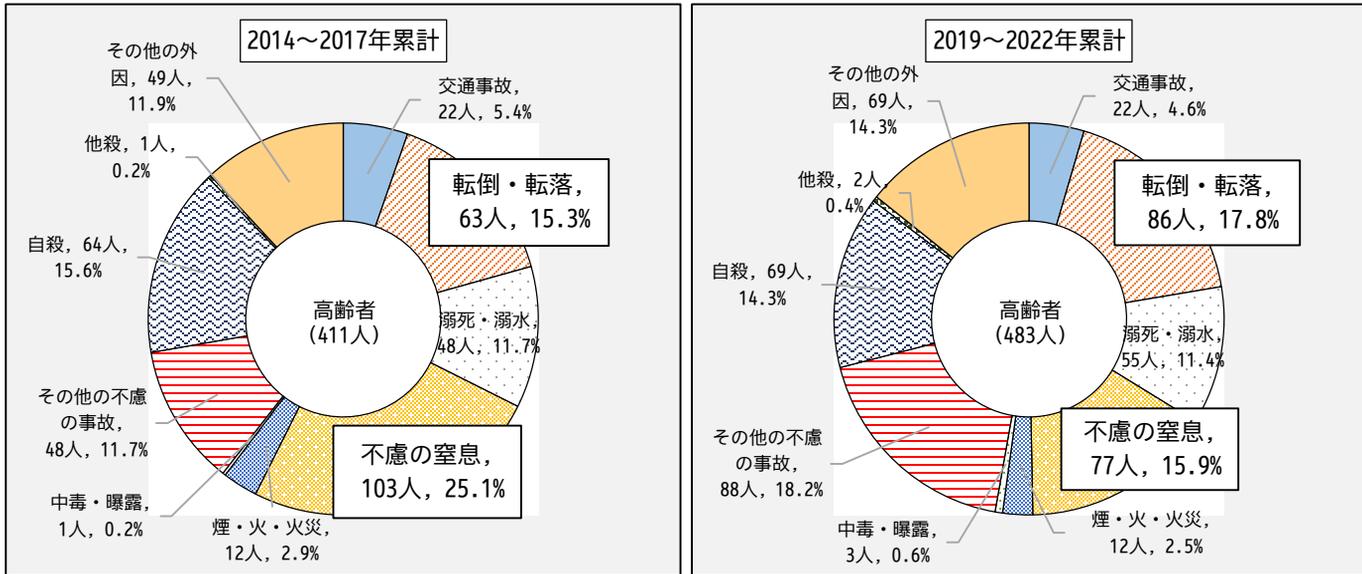


(備考) 「人口動態統計」(厚生労働省)を加工して作成

分野3 高齢者の安全

(7) 高齢者のけがや事故による種別ごとの死亡者数（郡山市）

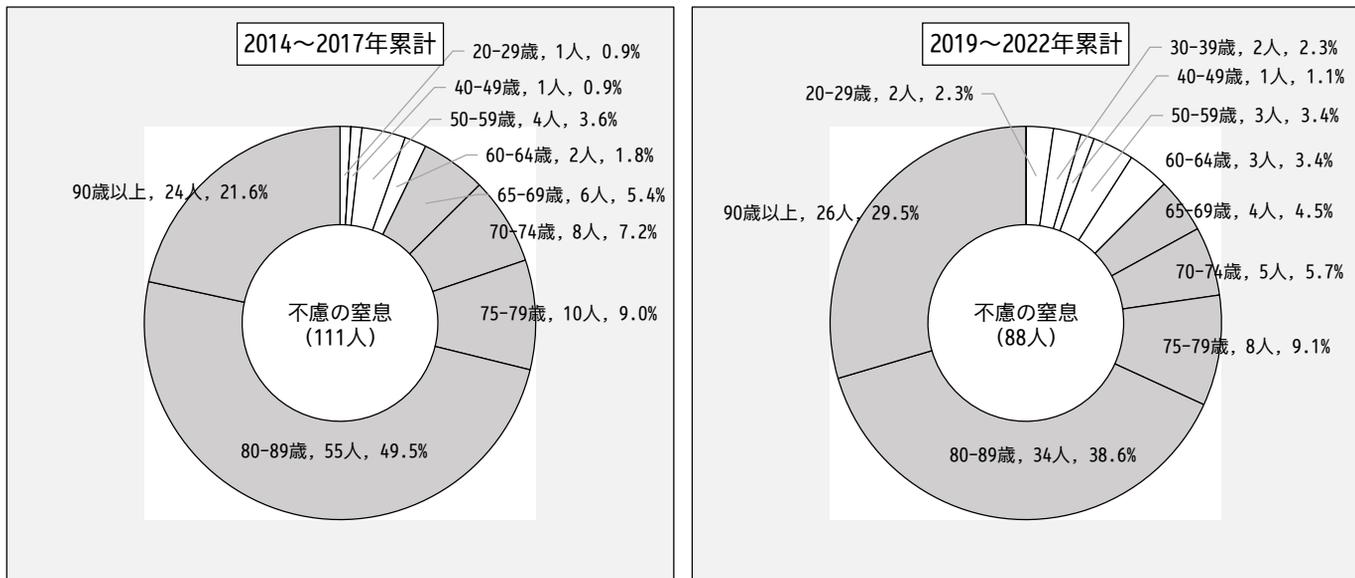
SC取組当初の2014～2017年の4年間と直近2019～2022年の4年間累計を比較すると、「不慮の窒息」の割合が9.2ポイント減少し、「転倒・転落」の割合が2.5ポイント増加した。



(備考) 「人口動態統計」(厚生労働省)を加工して作成

(8) 窒息による年代別死亡者数の割合（郡山市）

SC取組当初の2014～2017年の4年間と直近2019～2022年の4年間累計を比較すると、65歳以上の割合は5.3ポイント減少した。

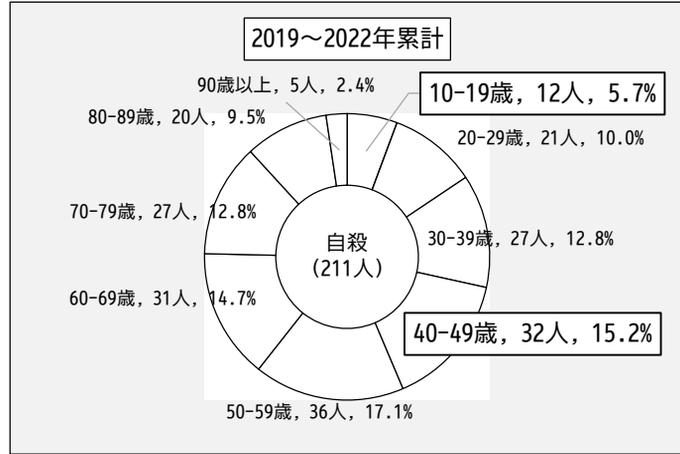
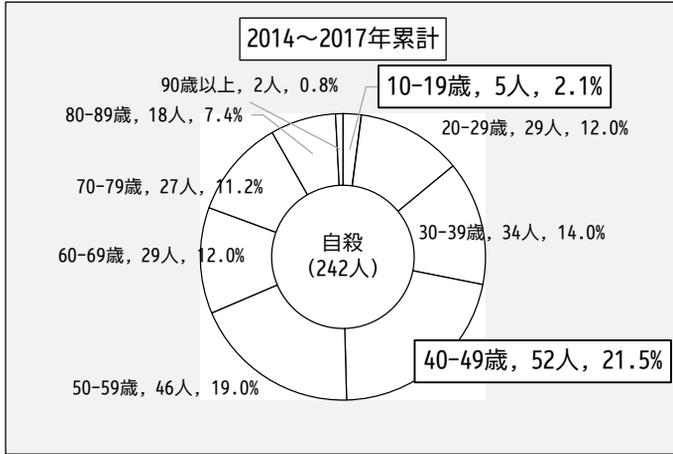


(備考) 「人口動態統計」(厚生労働省)を加工して作成

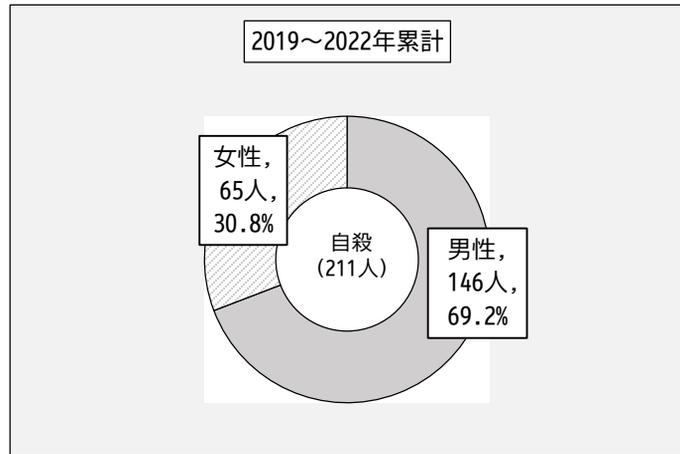
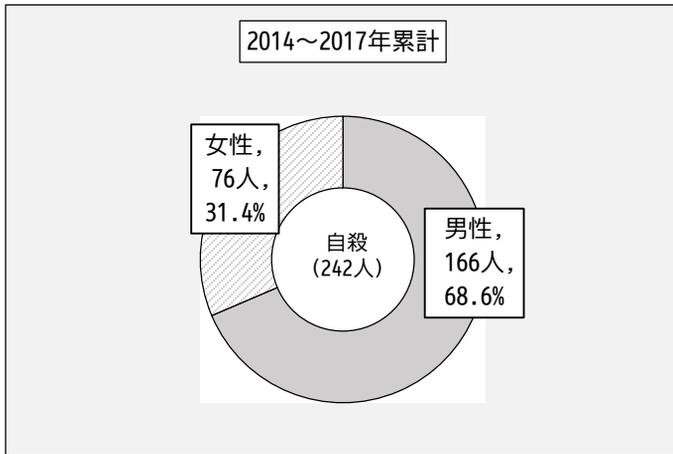
分野4 自殺予防

(3) 年齢層別・男女別自殺者数(郡山市)

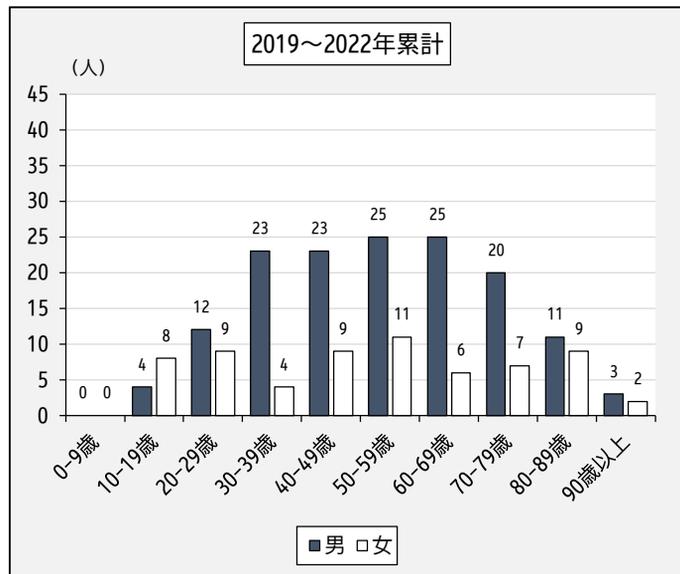
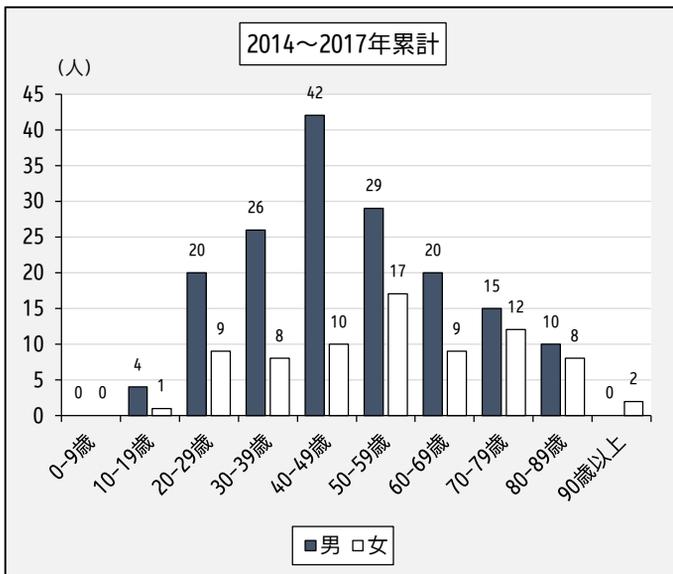
SC取組当初の2014～2017年の4年間と直近2019～2022年の4年間累計を比較すると、
 ・年齢層別では、「40-49歳」の割合が6.3ポイント減少し、「10-19歳」の割合が3.6ポイント増加した。



・男女別では、割合の大きな変化はない。



・年齢層・男女別では、40代の男性の自殺者数は約半数に減少した。

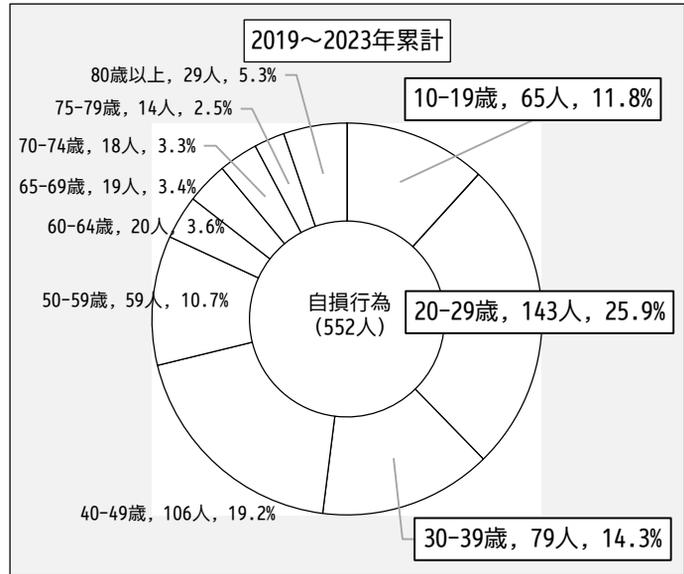
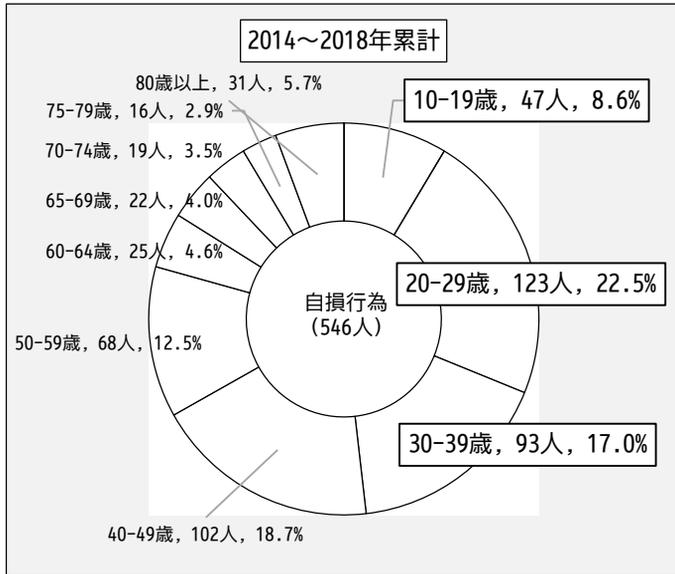


(備考) 「人口動態統計」(厚生労働省)を加工して作成

分野4 自殺予防

(7) 自損行為を要因に救急搬送された年齢層別割合 (郡山市)

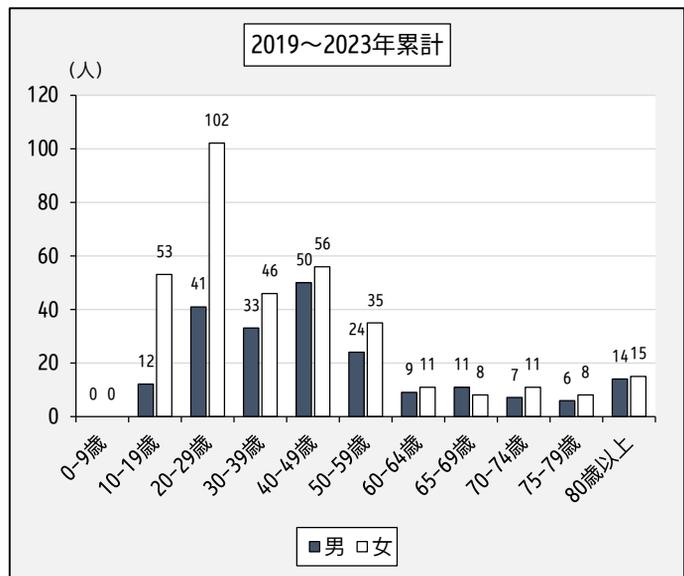
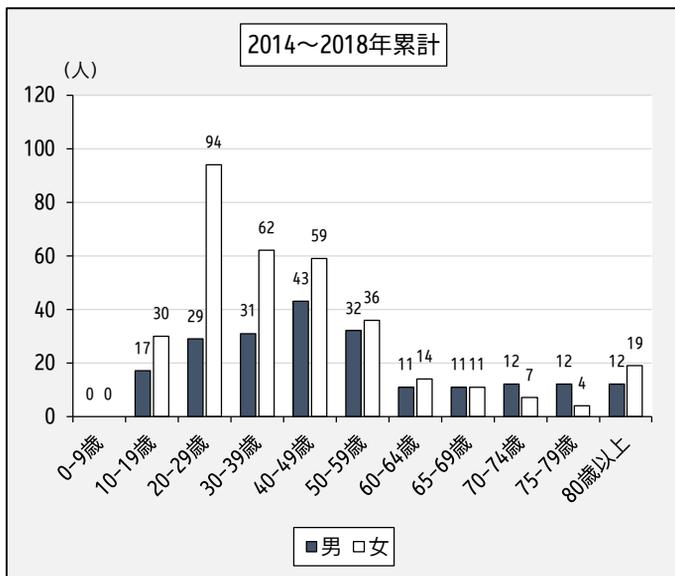
SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、「20-29歳」の割合が3.4ポイント、「10-19歳」の割合が3.2ポイント増加し、「30-39歳」の割合が2.7ポイント減少した。



(備考) 「救急搬送データ (詳細版)」 (郡山地方広域消防組合) を加工して作成

(8) 自損行為を要因に救急搬送された性別年齢層別割合 (郡山市)

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、男性は「20-29歳」が12人増加し、「50-59歳」が8人減少した。女性は「10-19歳」が23人増加し、「30-39歳」が16人減少した。

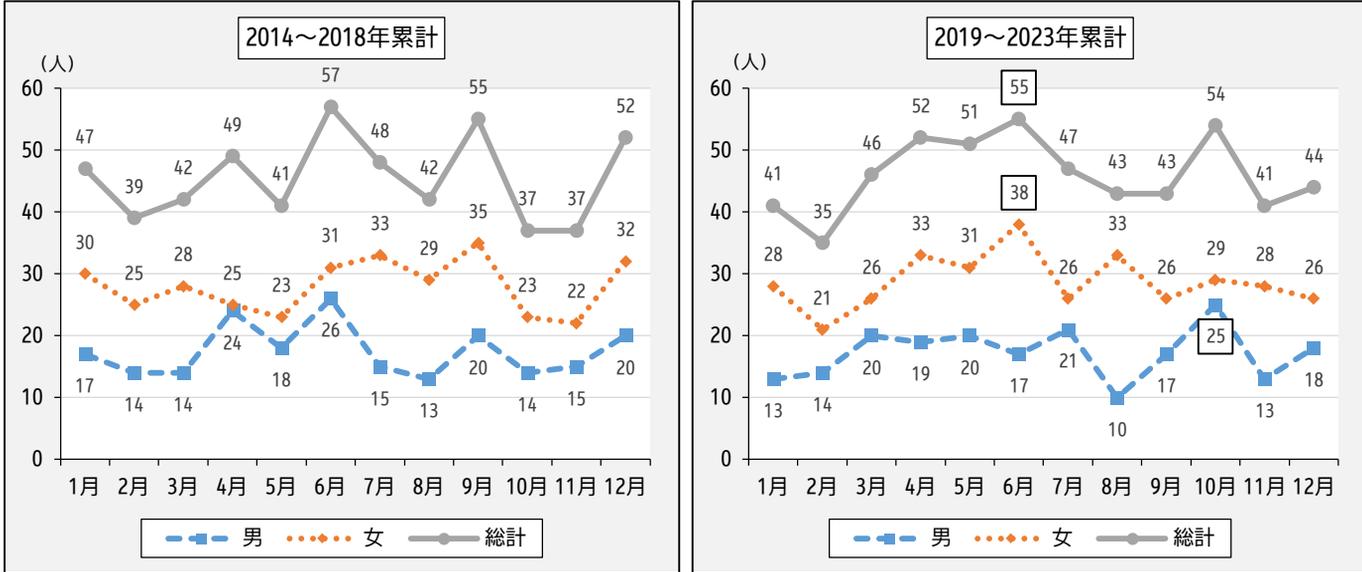


(備考) 「救急搬送データ (詳細版)」 (郡山地方広域消防組合) を加工して作成

分野4 自殺予防

(9) 自損行為を要因に救急搬送された月別人数(郡山市)

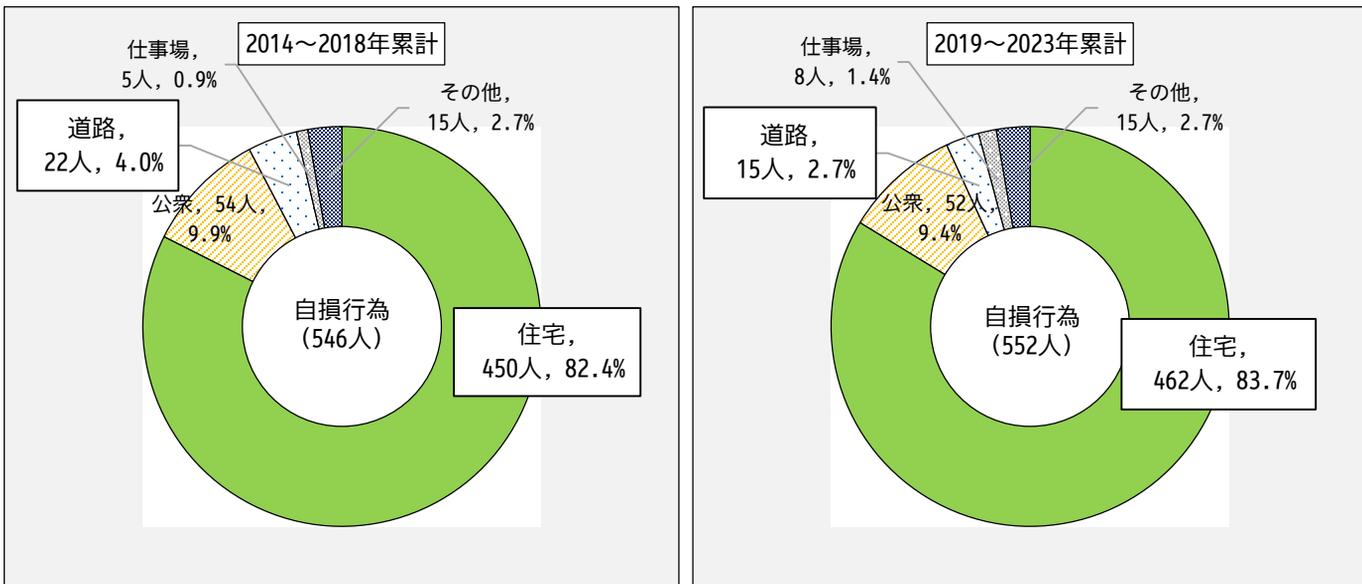
SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、いずれも「6月」が最も多い。
直近5年間では、男性は「10月」が最も多く、女性は「6月」が最も多い。



(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

(10) 自損行為の救急搬送発生場所(郡山市)

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、救急搬送発生場所の割合に大きな変化はない。

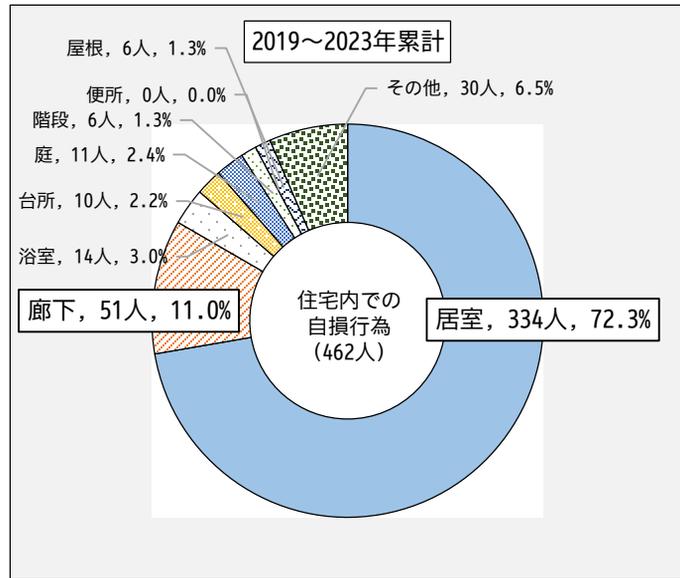
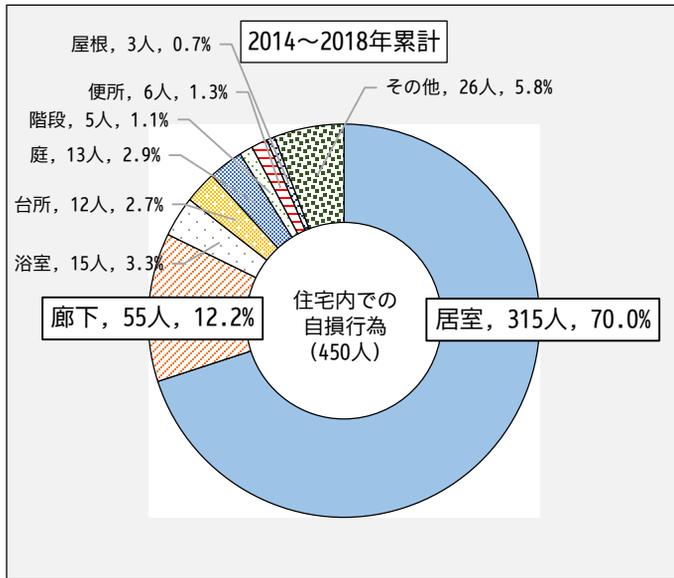


(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野4 自殺予防

(11) 自損行為の住宅内での救急搬送発生場所（郡山市）

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、「居室」の割合が2.3ポイント増加した。

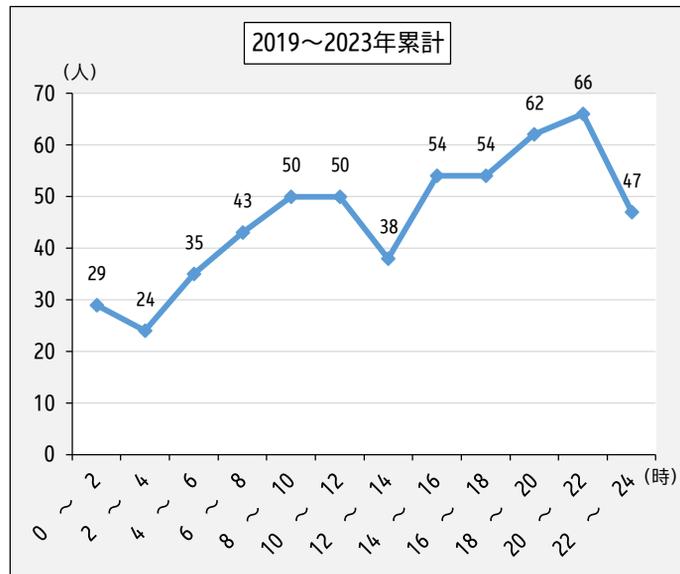
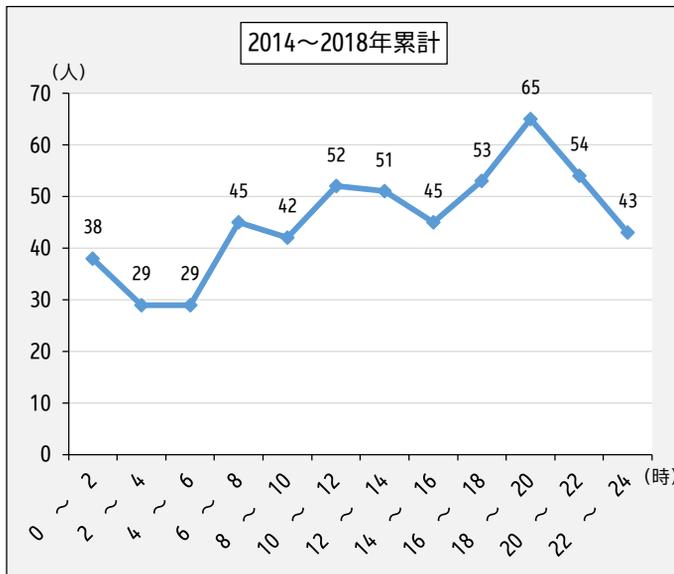


(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

(12) 自損行為を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数（郡山市）

ア 時間別

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、直近5年間では、「20～22時」が最も多く、次いで「18～20時」となっている。



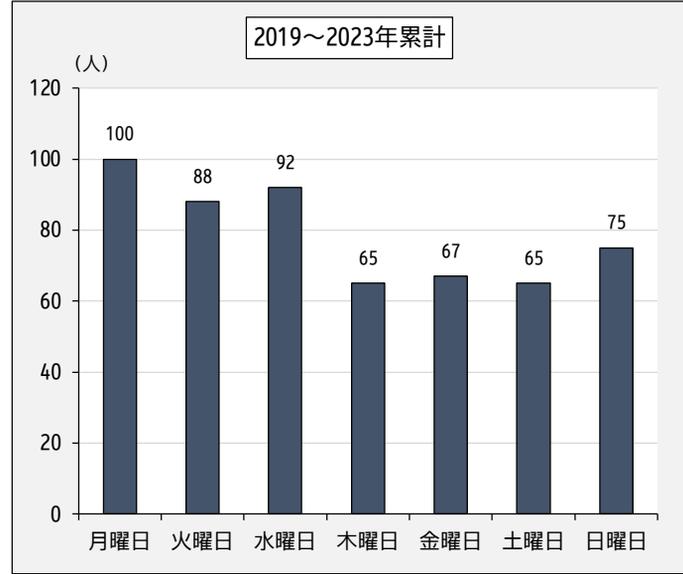
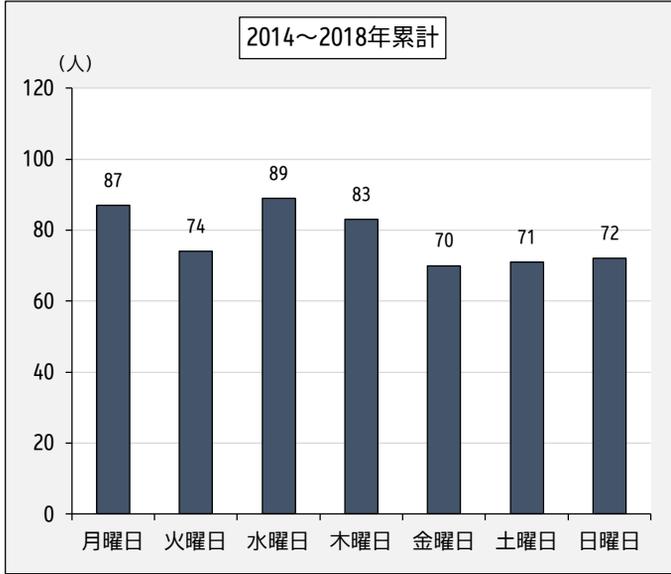
(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野4 自殺予防

(12) 自損行為を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数（郡山市）

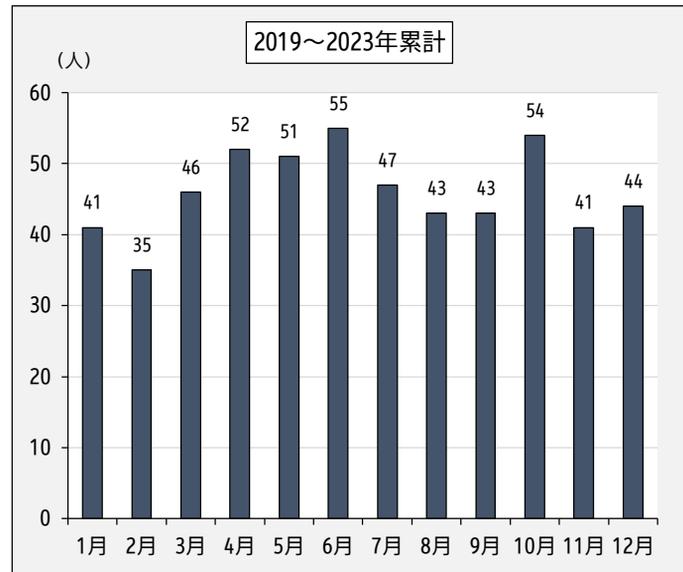
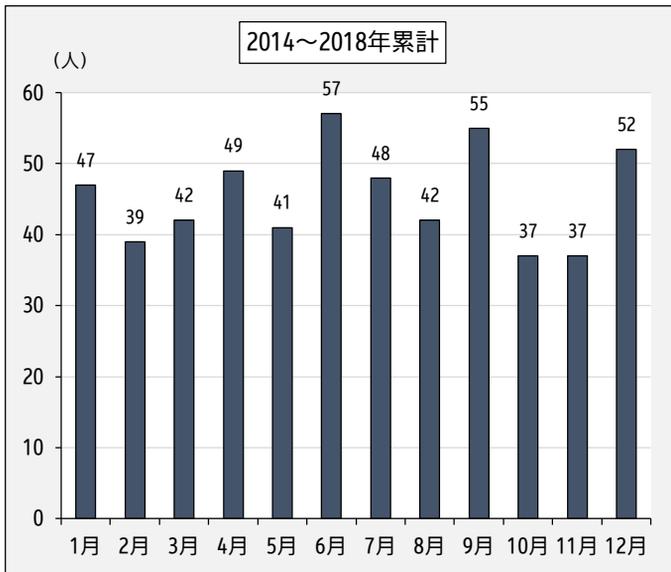
イ 曜日別

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、直近5年間では、「月曜日」が最も多く、次いで「水曜日」となっている。



ウ 月別

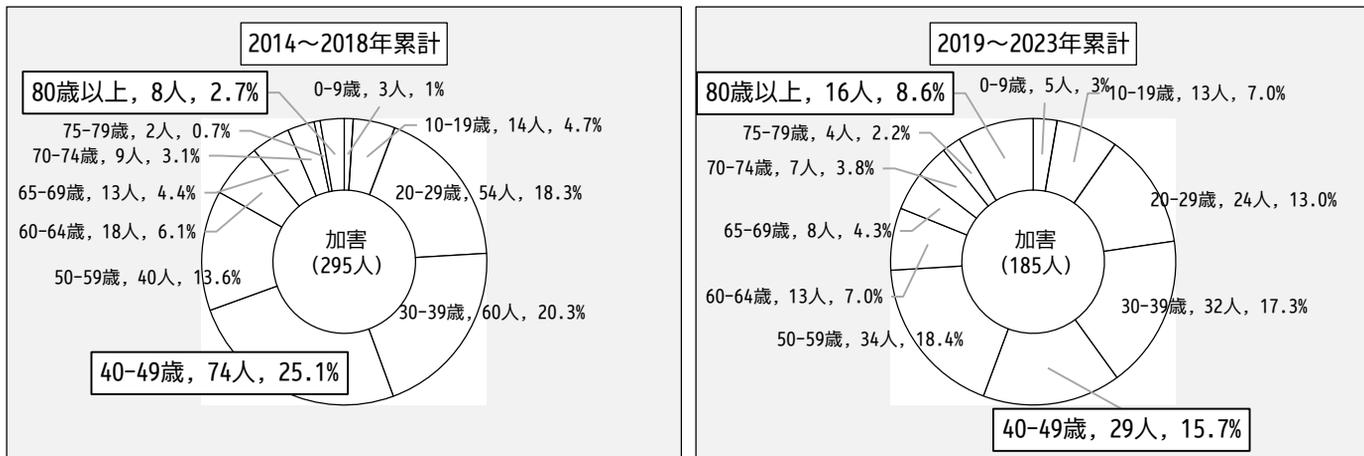
SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、直近5年間では、「6月」が最も多く、次いで「10月」となっている。



(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

(4) 加害を要因とした救急搬送の年齢階層別構成 (郡山市)

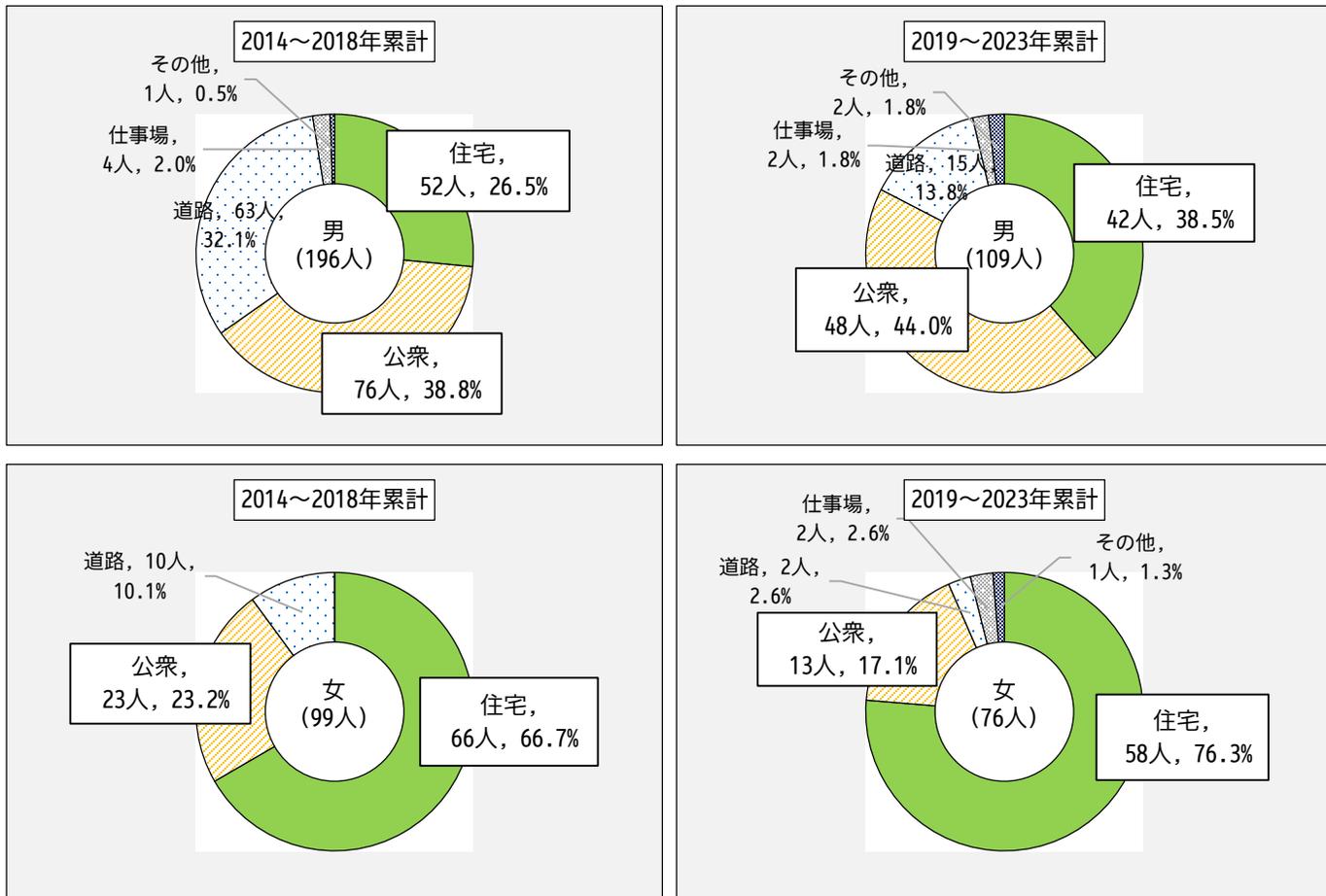
SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、「40-49歳」の割合が9.4ポイント減少し、「80歳以上」の割合が5.9ポイント増加した。



(備考) 「救急搬送データ (詳細版)」 (郡山地方広域消防組合) を加工して作成

(6) 加害を要因とした男女別の救急搬送場所 (郡山市)

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、男性は「公衆」の割合が5.2ポイント、「住宅」の割合が12.0ポイント増加した。女性は「住宅」の割合が9.6ポイント増加し、「公衆」の割合が6.1ポイント減少した。



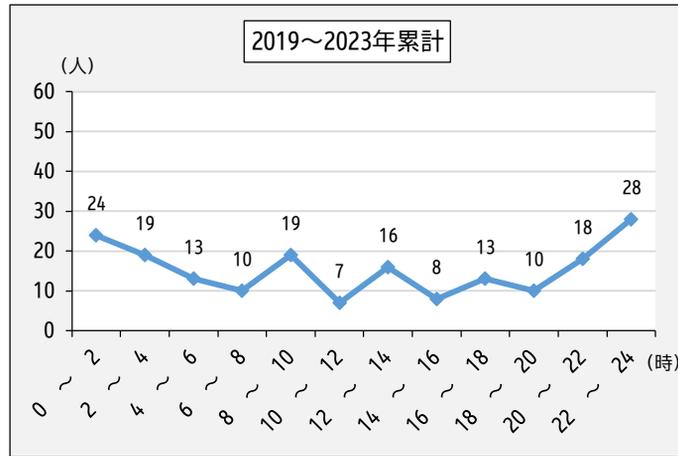
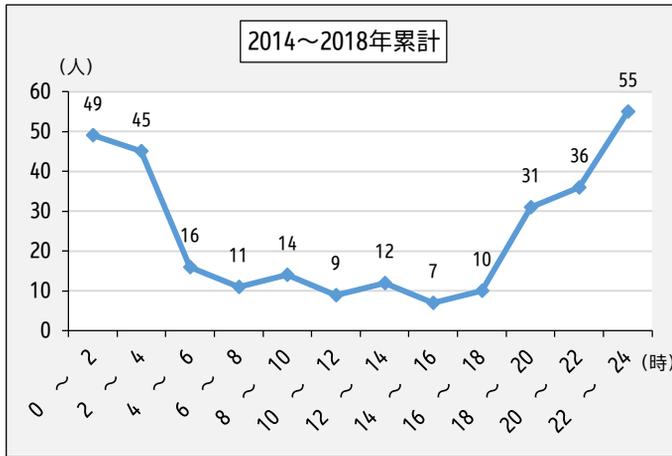
(備考) 「救急搬送データ (詳細版)」 (郡山地方広域消防組合) を加工して作成

分野5 防犯

(7) 加害を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数(郡山市)

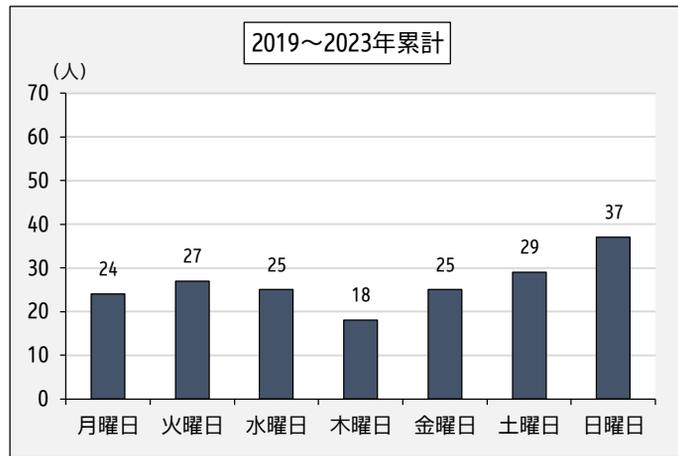
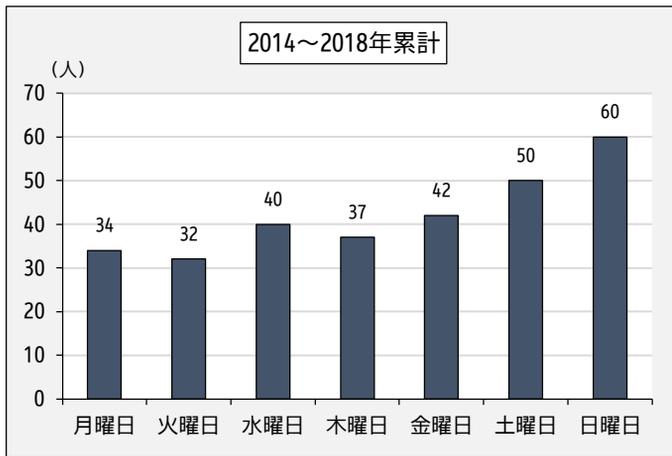
ア 時間別

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、いずれも「22～24時」が最も多く、次いで「0～2時」となっている。



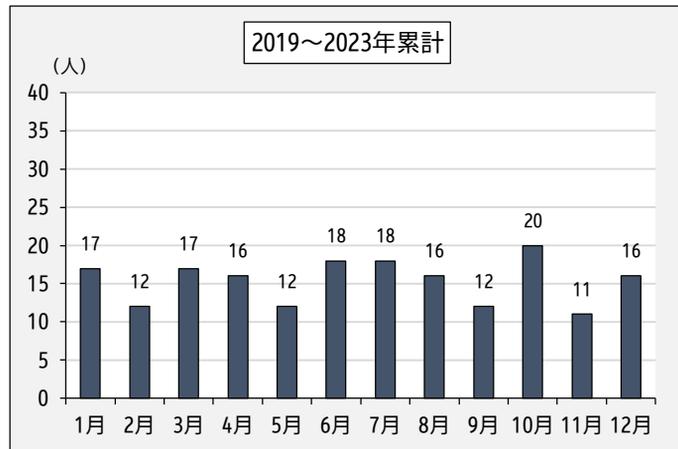
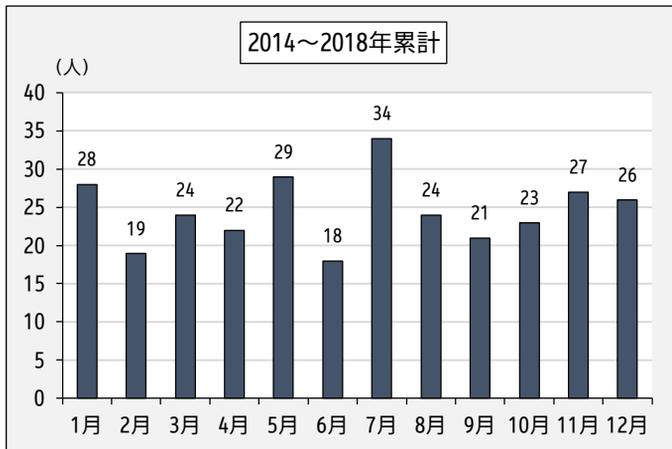
イ 曜日別

いずれも「日曜日」が最も多く、次いで「土曜日」となっている。



ウ 月別

直近5年間では、「10月」が最も多く、次いで「6月」「7月」となっている。

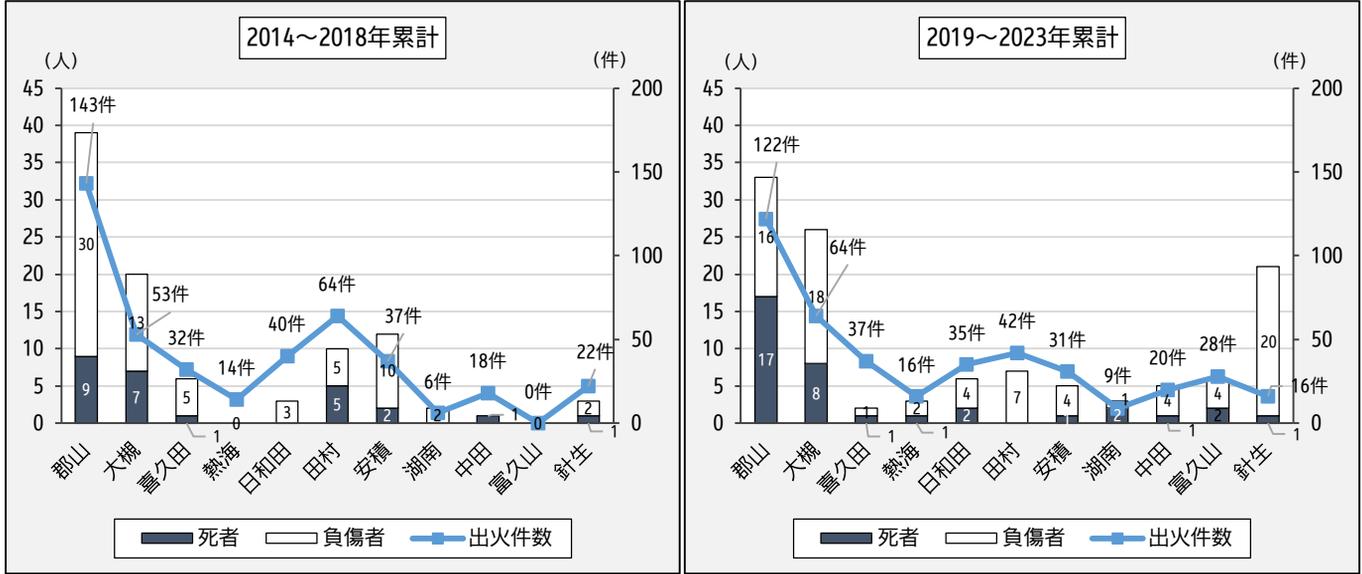


(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野6 防災

(3) 署所別の出火件数と死傷者数（郡山市）

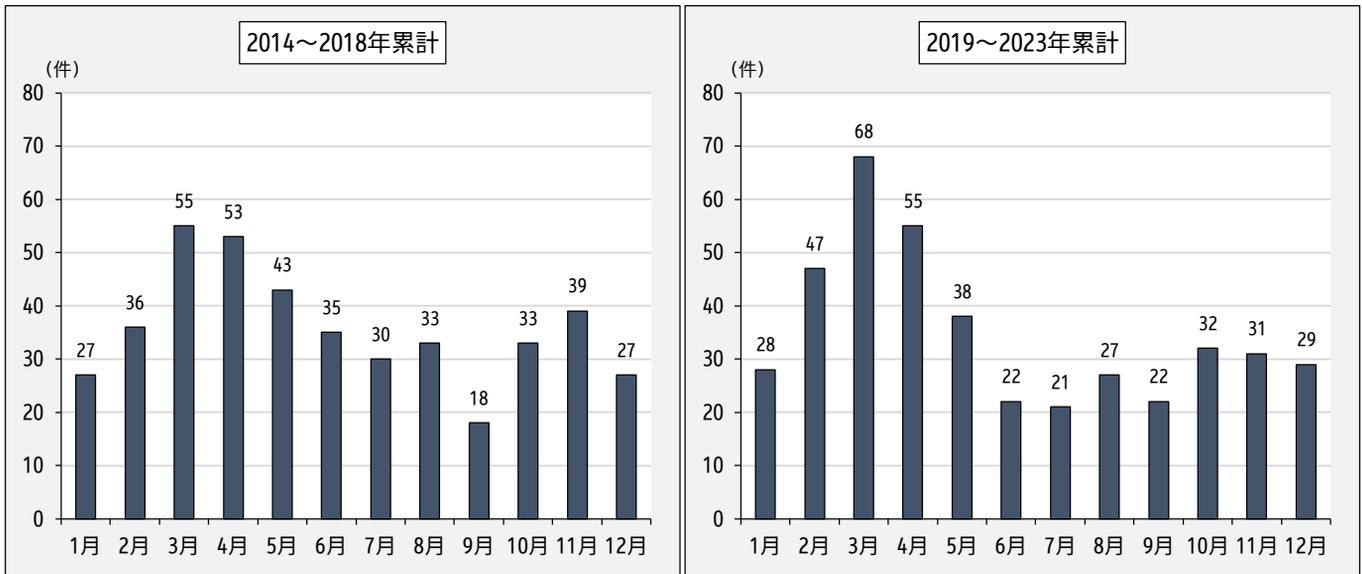
SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、出火件数では、いずれも「郡山」が最も多い。死傷者数では、いずれも「郡山」が最も多く、次いで「大槻」となっている。



(備考) 1 「消防年報こおりやま」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成
2 富久山分署は2019年11月から業務開始

(6) 月別火災発生件数（郡山市）

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、いずれも「3月」が最も多く、次いで「4月」となっている。



(備考) 「消防年報こおりやま」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

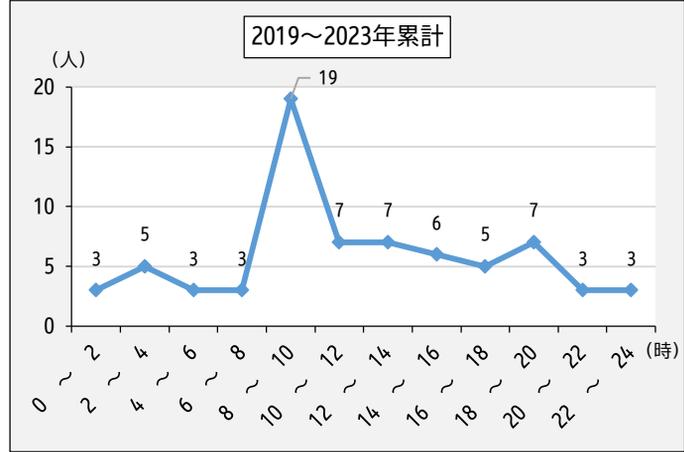
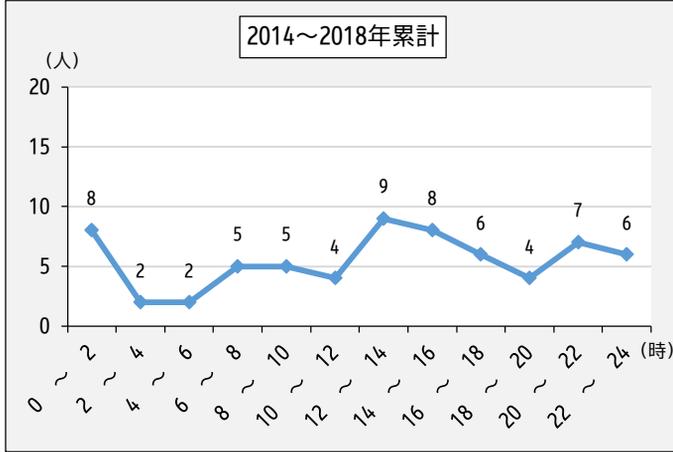
分野6 防災

(7) 火災を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数(郡山市)

※2020年7月30日(木) 8時57分頃に郡山市島2丁目地内において大規模な建物火災(爆発)が発生したため、該当する時間・曜日・月の人数が多くなっている。

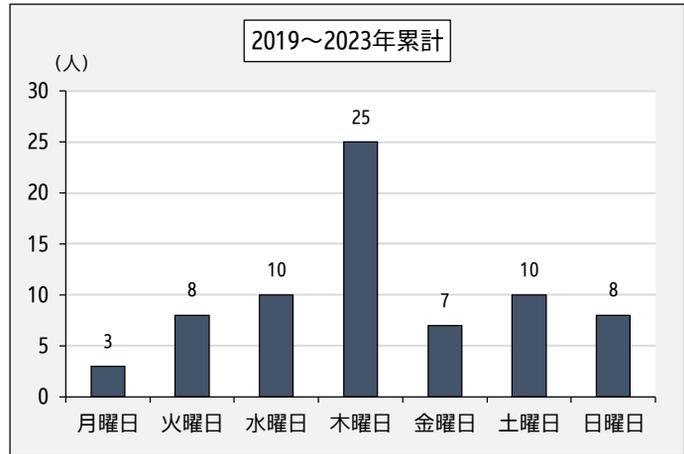
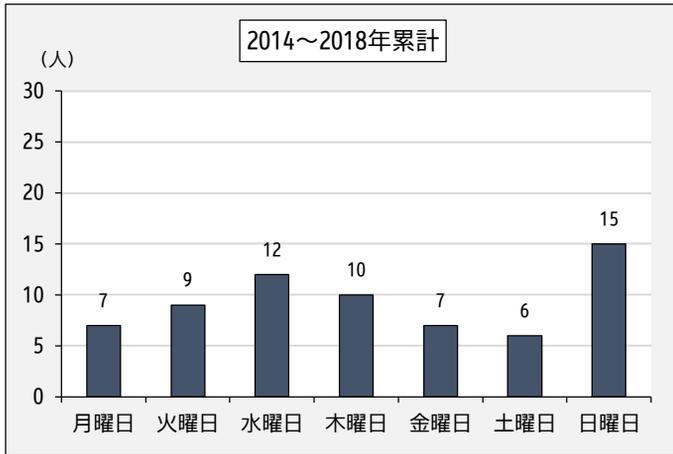
ア 時間別

SC取組当初の2014~2018年の5年間と直近2019~2023年の5年間累計を比較すると、直近5年間では、「8~10時」が最も多くなっている。



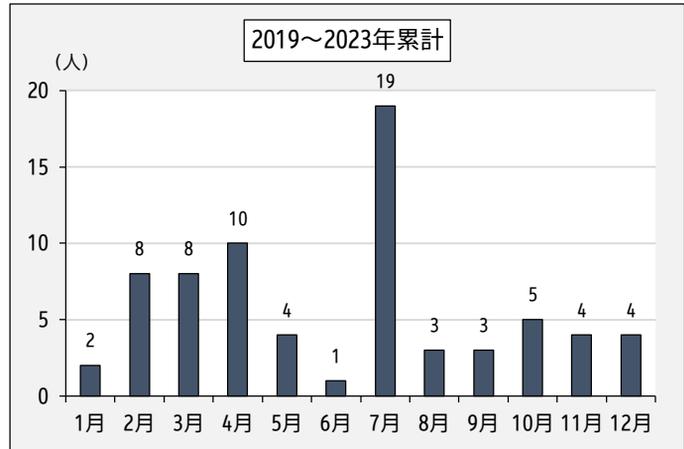
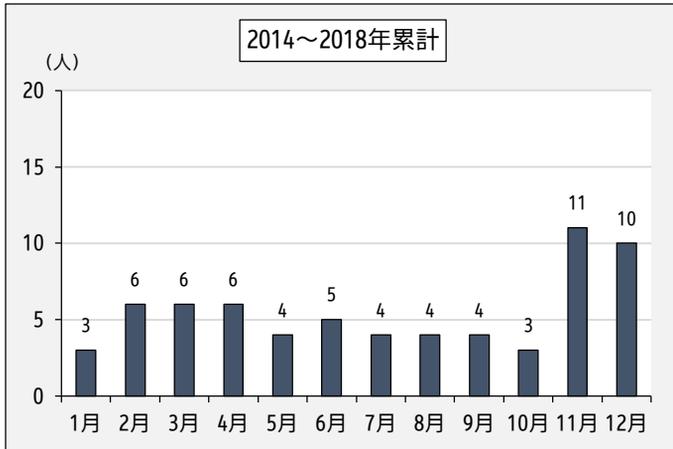
イ 曜日別

直近5年間では、「木曜日」が最も多く、次いで「水曜日」「土曜日」となっている。



ウ 月別

直近5年間では、「7月」が最も多く、次いで「4月」となっている。

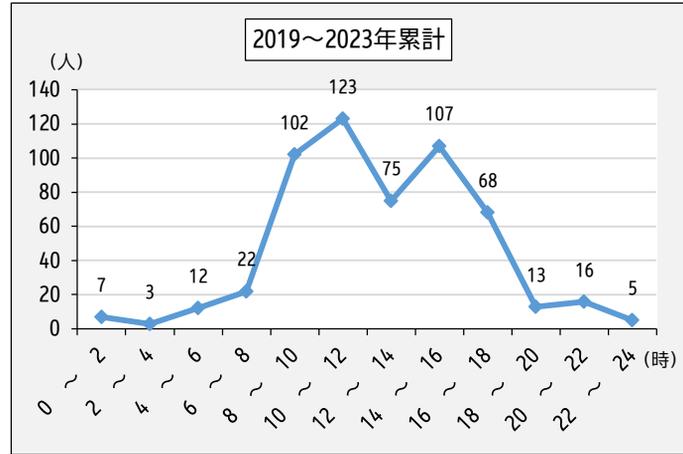
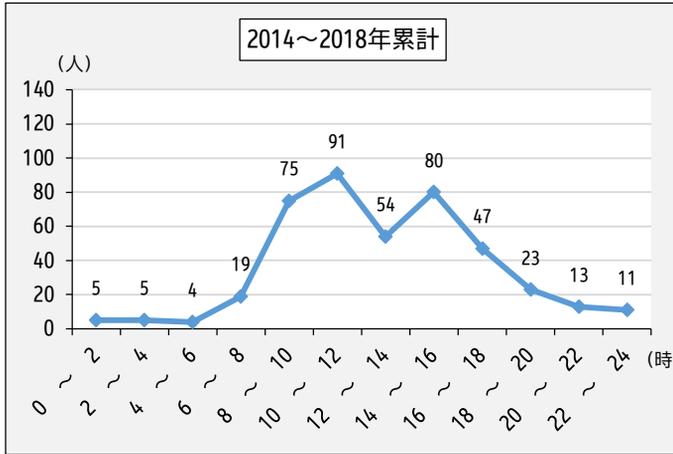


分野6 防災

(10) 労働災害を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数（郡山市）

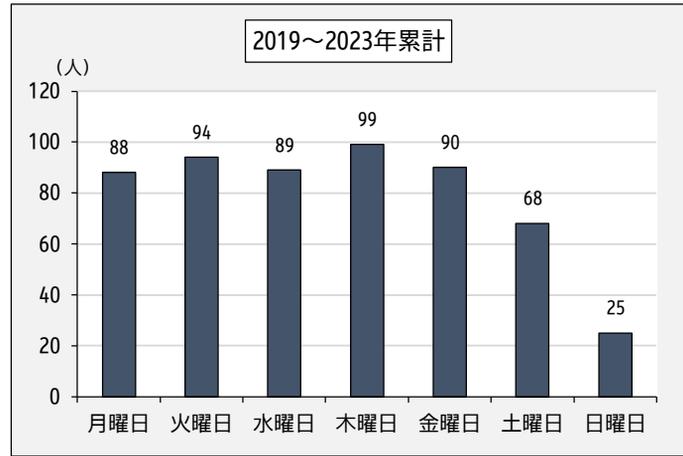
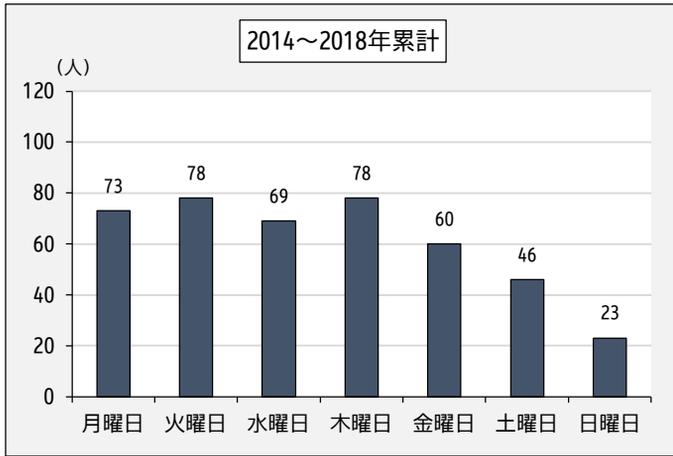
ア 時間別

SC取組当初の2014～2018年の5年間と直近2019～2023年の5年間累計を比較すると、いずれも「10～12時」が最も多く、次いで「14～16時」となっている。



イ 曜日別

いずれも「木曜日」が最も多くなっている。



ウ 月別

直近5年間では、「10月」が最も多く、次いで「2月」となっている。

